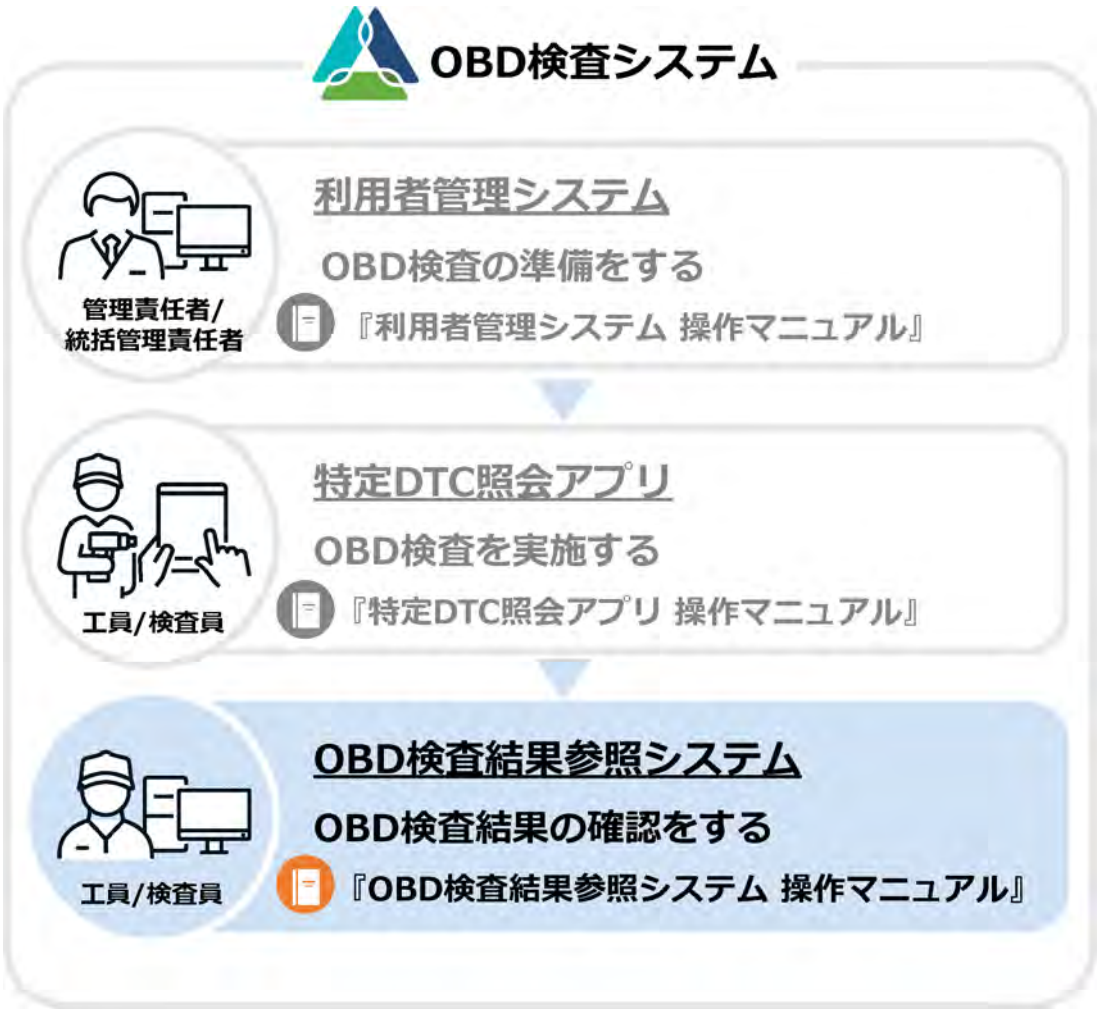
OBD 検査結果参照システム 操作マニュアル

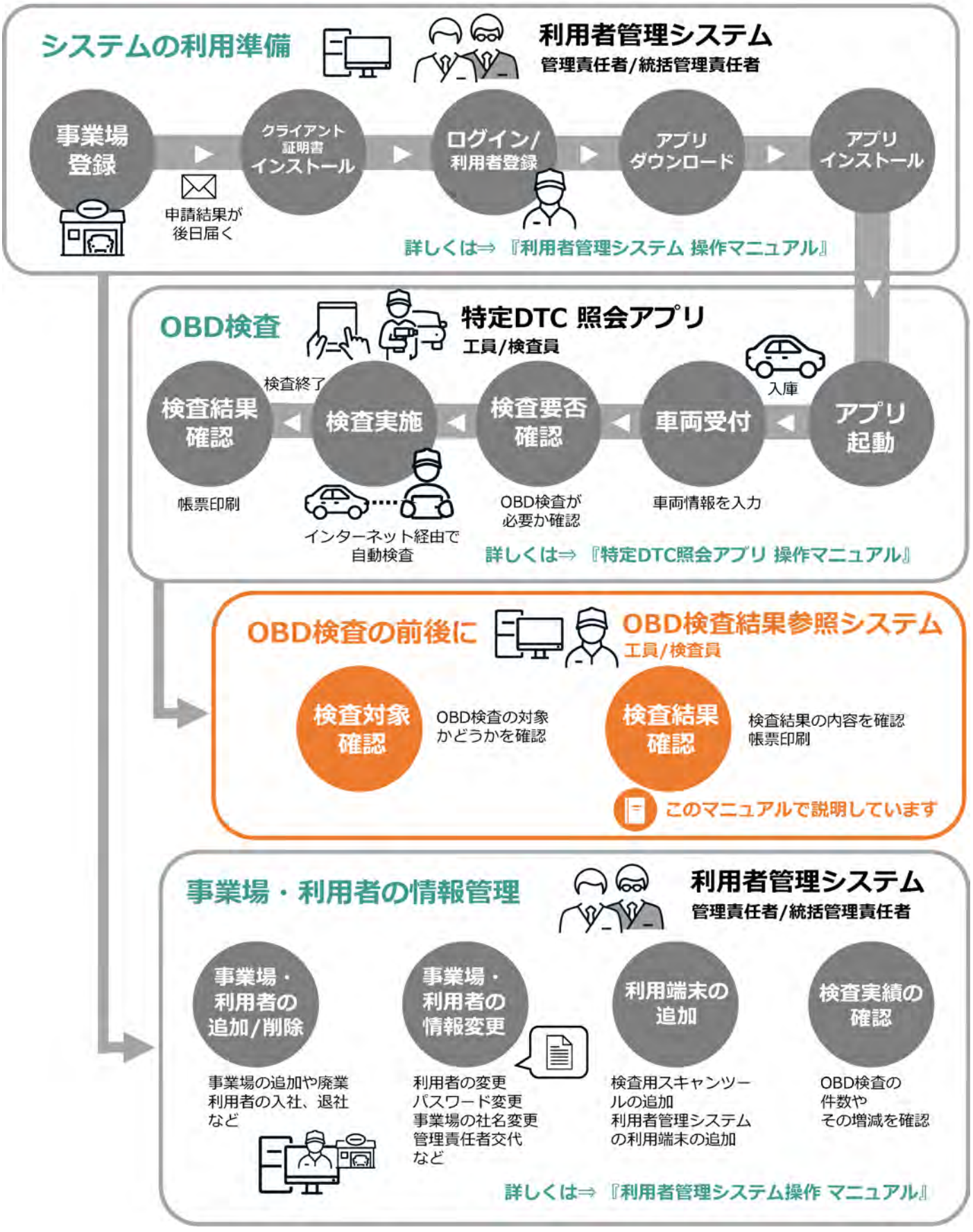
対象読者｜事業場の工員または検査員



第 1.6 版

独立行政法人
自動車技術総合機構

OBD検査の流れ


システムの利用準備
利用者管理システム
管理責任者/統括管理責任者
事業場登録
申請結果が後日届く
クライアント証明書インストール
ログイン/利用者登録
アプリダウンロード
アプリインストール
詳しくは⇒『利用者管理システム 操作マニュアル』
OBD検査
特定DTC 照会アプリ
工員/検査員
入庫
検査結果確認
検査終了
検査実施
検査要否確認
車両受付
アプリ起動
帳票印刷
インターネット経由で自動検査
OBD検査が必要か確認
車両情報を入力
詳しくは⇒『特定DTC照会アプリ 操作マニュアル』
OBD検査の前後に
OBD検査結果参照システム
工員/検査員
検査対象確認
OBD検査の対象かどうかを確認
検査結果確認
検査結果の内容を確認
帳票印刷
このマニュアルで説明しています
事業場・利用者の情報管理
利用者管理システム
管理責任者/統括管理責任者
事業場・利用者の追加/削除
事業場の追加や廃業
利用者の入社、退社
など
事業場・利用者の情報変更
利用者の変更
パスワード変更
事業場の社名変更
管理責任者交代
など
利用端末の追加
検査用スキャンツールの追加
利用者管理システムの利用端末の追加
検査実績の確認
OBD検査の件数やその増減を確認
詳しくは⇒『利用者管理システム操作 マニュアル』

目次

マニュアルについて 4

1　はじめに 7

1.1　OBD 検査結果参照システムとは 7

1.2　ご利用の前に 9

2　基本操作 10

2.1　ログインとログアウト 10

2.2　画面の操作 18

2.3　お知らせを確認する 20

2.4　FAQ を確認する 21

3　OBD 検査対象かどうかを確認する 22

3.1　概要 22

3.2　OBD 検査対象の型式かどうかを検索する 23

3.3　接続端子の位置情報を確認する 27

4　OBD 検査結果を確認する 29

4.1　概要 29

4.2　OBD 検査結果を検索する 30

4.3　検査結果を CSV ファイルに出力する 37

4.4　検査結果を帳票 PDF ファイルに出力する 39

5　こんなときは 42

5.1　ログイン画面が表示されないとき 42

5.2　ユーザーID またはパスワードを忘れたとき 43

5.3　パスワードを変更したいとき 43

5.4　《セッション切断》画面が表示されたとき 46

5.5　クライアント証明書の有効期限が切れたとき 47

5.6　型式検索結果と検査場での検査要否確認結果が異なったとき 50

5.7　特定 DTC 照会アプリをダウンロードする 50

5.8　検査結果を削除する 53

6　お問い合わせ 56

6.1　お問い合わせ先 56

7　付録 57
7.1　エラーメッセージと対処方法 57
7.2　OBD 検査ポータル 58
7.3　改訂履歴 58

マニュアルについて

本マニュアルは、整備事業者が、事業場で OBD 検査結果参照システムを利用して行う操作について説明しています。

■マニュアル構成について

本マニュアルの構成は以下のとおりです。

章	記載内容
1　はじめに	OBD 検査結果参照システムの機能の紹介と業務の流れ、利用開始までの準備
2　基本操作	OBD 検査結果参照システムの操作方法
3　OBD 検査対象かどうかを確認する	型式や初度登録年月から OBD 検査の対象車両かどうかを確認する手順
4　OBD 検査結果を確認する	OBD 検査の実施日や車両情報から OBD 検査結果を確認する手順
5　こんなときは	いろいろなケースに応じた操作、対象方法
6　お問い合わせ	お問い合わせ先
7　付録	OBD 検査ポータルの URL、改訂履歴

■関連マニュアルについて

OBD 検査システムに関連する整備事業者向けのマニュアルは、以下の 3 冊です。

マニュアル名称	対象読者	記載内容
特定 DTC 照会アプリ 操作マニュアル	工員／検査員	特定 DTC 照会アプリを利用して OBD 検査を行う操作について説明しています。
利用者管理システム 操作マニュアル	管理責任者／ 統括管理責任者	OBD 検査システムの利用申請や管理を行う操作について説明しています。
OBD 検査結果参照システム 操作マニュアル**（本マニュアル）**	工員／検査員	OBD 検査の前後に検査結果を確認したり、問い合わせに応じて OBD 検査の対象型式かどうかを確認する操作について説明しています。

■マニュアルの表記について

本マニュアルでは、以下のマークや記号を使用しています。

マーク	説明
	操作にあたって注意すべき情報を記載しています。
	操作手順の補足的な情報や、参考情報について記載しています。
「〇〇」	本マニュアル内の参照箇所を記載しています。
『〇〇』	関連マニュアルの名称を記載しています。
《〇〇》画面	OBD 検査結果参照システムに表示される、画面の名称を記載しています。

■用語集

本マニュアルでは、以下の用語を使用しています。

用語	説明
DTC（故障コード）	Diagnostic Trouble Code。ECU が自己診断により異常を検知した際に記憶する異常部位・内容ごとに定められたコードのことで、多くは P、B、C、U およびその後の 4 桁または 6 桁の数字で示される。ただし、これによらず自動車製作者により独自に設定しているものもある。
ECU	Electronic Control Unit。エンジンやトランスミッションのほか、安全関係の装置などを電子的に制御する装置。
MIL（MI）	Malfunction Indicator Lamp。インパネなどに設置され、主に排ガスの機能に故障が発生した際にユーザーに対して発する警告表示。特定 DTC 照会アプリでは、ECU から取得できる MIL 信号の有無を読み取ってその結果を表示する。
OBD	On-Board Diagnostics。ECU に搭載された故障を自己診断する機能のことであり、車載式故障診断装置ともいう。
安全 OBD	安全関連装置の故障に係る自己診断機能。OBD は、海外を中心に一般的に排ガス関連装置を指すことがあるため、これを区別する場合に用いる。
OBD 検査システム	OBD 検査を実施するために必要となる OBD 検査用サーバーや特定 DTC 照会アプリなどの OBD 検査に関連する一連のシステム。
特定 DTC 照会アプリ	検査用スキャンツールにインストールして用いる OBD 検査のためのアプリケーション。
利用者管理システム	OBD 検査システムを利用できる環境を準備し、事業場や利用者の情報管理を行うシステム。
VCI	Vehicle Communication Interface。検査用スキャンツールの一部であり、ECU と端末（Windows がインストールされた PC またはタブレット）間の通信を中継する装置。

用語	説明
特定 DTC	保安基準に不適合となる DTC（故障コード）。
検査用スキャンツール	国が定める基準に適合する OBD 検査のための機器。検査用スキャンツールは、主に特定 DTC 照会アプリをインストールする端末（Windows がインストールされた PC またはタブレット）および VCI で構成される。
レディネスコード（レディネス）	排ガス関連システムの OBD が実行する故障診断の実行履歴情報。一般的に、故障診断を実行されるとレディネスコードが完了となり、その際、異常が検知されれば DTC が OBD に記録される。なお、レディネスコードが未完了の場合は過去に故障診断が実行されていない状態を示す。
整備事業者	道路運送車両法第 78 条に規定する自動車特定整備事業者。それぞれ整備を行うための事業場（整備工場）を 1 拠点または複数拠点保有する。整備工場のうち、国が指定するものを指定工場、指定を持たないものを認証工場とする。
管理責任者	事業場内の OBD 検査システムの利用者を管理する責任者。 1 つの事業場に必ず配置する必要があり、最大 3 名まで配置することができる。
統括管理責任者	複数の事業場をグループで統括して管理する責任者。事業場を統括管理するグループに必ず配置する必要があり、最大 3 名まで配置することができる。

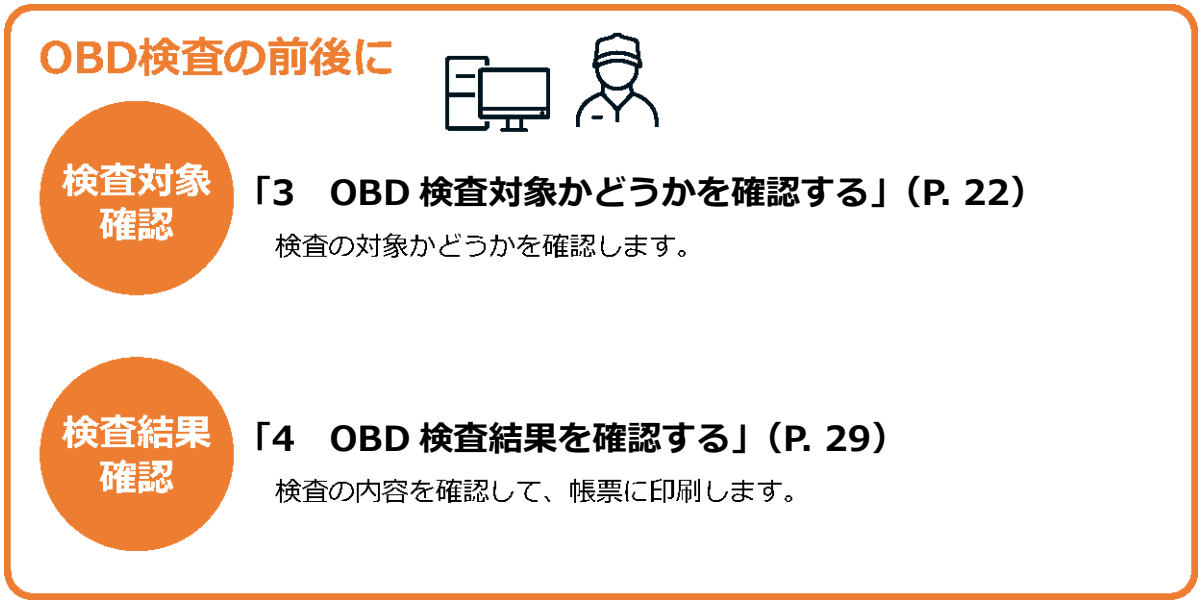
■商標および免責事項

- Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Google Chrome は、Google LLC の登録商標または商標です。
- Soliton KeyManager は、株式会社ソリトンシステムズの商標です。
- その他、本書に記載の会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。
- 本書に記載のシステム名、製品名等には、商標表示（®、™）を付記していません。
- 本システムは、仕様の一部を予告なく変更する場合があります。
- 本書に掲載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。

1 はじめに

1.1 OBD 検査結果参照システムとは

OBD 検査結果参照システム（以降「本システム」）は、特定 DTC 照会アプリを用いて行った OBD 検査の結果を確認して出力したり、OBD 検査の対象であるかどうかを車両情報から確認するためのシステムです。



本システムは、PC（パソコン）からインターネットを通じて利用できる Web システムです。
システムのメンテナンス時間を除いて、24 時間 365 日利用できます。

メモ

システムのメンテナンス時間は、あらかじめ「お知らせ」で通知されます。「お知らせ」の確認方法は、「2.3 お知らせを確認する」を参照してください。

■OBD 検査とは

OBD 検査とは、自動運転技術などに用いられる電子制御装置が適切に機能しているかを確認する検査です。国の定める自動車検査の検査項目として、2024 年 10 月以降に新たに追加されます。

メモ

- OBD 検査の対象となる車両は、国産車は 2021 年 10 月 1 日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）、輸入車は 2022 年 10 月 1 日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）です。
- OBD 検査の対象となる車両の車検証には、「OBD 検査対象車」（電子車検証の場合は「OBD 検査対象」）などの記載があります。ただし、以下の場合、OBD 検査対象車であっても OBD 検査不要と判定されます。
  - 検査日が令和 6 年 9 月 30 日以前（輸入車は令和 7 年 9 月 30 日以前）である
  - 検査日が型式指定年月日から 2 年を経過していない
  - 検査日が初度登録年月または初度検査年月の前月の末日から起算して 10 ヶ月を経過していない

■本システムの機能

特定 DTC 照会アプリをダウンロードする

特定 DTC 照会アプリをダウンロードします。ダウンロードした特定 DTC 照会アプリは、各事業場で使用する検査用スキャンツールの端末（Windows がインストールされた PC またはタブレット）に展開します。

OBD 検査が必要な車両かどうかの確認

型式や初度登録年月から、OBD 検査が必要な車両かどうかを確認します。

OBD 検査が必要な車両の場合、検査用スキャンツールを接続するための車両側の接続端子の位置情報など、OBD 検査や OBD 確認を行うときに参考となる情報も確認できます。

「3　OBD 検査対象かどうかを確認する」を参照

メモ

特定 DTC 照会アプリにも OBD 検査の要否を確認する機能がありますが、OBD 検査および OBD 確認の一環のため、目的が異なります。

OBD 検査や OBD 確認の結果を確認

OBD 検査や OBD 確認を実施した車両において、OBD 検査の実施日や車両情報から過去の OBD 検査結果を確認します。

さらに、OBD 検査または OBD 確認を実施した車両の検査結果詳細を、CSV ファイルや PDF ファイルとして出力もできます。出力した CSV ファイルは、外部のシステムに取り込んで利用できます。出力した PDF ファイルは、OBD 検査後に印刷して受検者にお渡しできます。

「4　OBD 検査結果を確認する」を参照

1.2　ご利用の前に

本システムをご利用になる前に、以下の内容をチェックしてください。

- ☐ **利用する PC がインターネットに接続されている**
- ☐ **利用する PC の OS が Windows 10 以上である**
- ☐ **対象ブラウザ「Microsoft Edge」または「Google Chrome」が使える**

  どちらのブラウザでも使えます。

  Microsoft Edge　Google Chrome
- ☐ **「.NET Framework」がインストールされていること**
- ☐ **ユーザーID とパスワード（「特定 DTC 照会アプリ」と共通）を取得している**

  ユーザーID とパスワードを通知されていない場合は、管理責任者または管理責任者にお問い合わせください。管理責任者または統括管理責任者が、利用者管理システムでユーザーID とパスワードを取得します。
- ☐ **利用する PC に、クライアント証明書がインストールされている**

  使用する端末には、1 つの Windows ユーザーにつき、1 つのクライアント証明書が必要です。クライアント証明書のインストールについては、管理責任者または統括管理責任者に確認してください。

  （『利用者管理システム 操作マニュアル』を参照）

2 基本操作

2.1 ログインとログアウト

本システムを利用するには、利用者管理システムにおいて利用者ごとに発行されたユーザーID とパスワード、または管理責任者から通知されたユーザーID とパスワード（「特定 DTC 照会アプリ」と共通）を使ってログインします。

はじめてシステムにログインする場合と 2 回目以降にログインする場合とでは、操作手順が異なります。

ご注意

- ユーザーID、パスワードは、個人を特定する重要な情報です。他者との共有や他者への貸出しを行わないでください。
- パスワード漏洩のリスクを減らすため、パスワードのメモを作成しないでください。また、使用する端末にパスワードを記憶させないでください。
- パスワード漏洩のおそれがある場合には、パスワードを変更してください。
- ユーザーID、パスワードを忘れた場合は、管理責任者または統括管理責任者にお問い合わせください。
- 同じブラウザで複数ユーザーがログインすると、先にログインしたユーザーの操作権限が失われエラーとなります。（他の端末や別ブラウザをご利用ください。）

■本システムにログインする（初回）

ここでは、初回のログイン方法について説明します。2 回目以降のログインまたは他のシステムでログイン済みの場合は、「■本システムにログインする（2 回目以降）」（P. 15）を参照してください。

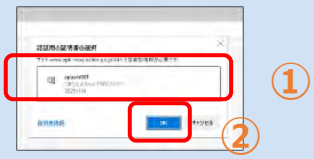
1. URL を入力してシステムにアクセスする

ブラウザのアドレスバーに URL を入力し、「Enter」キーを押します。

本システムの URL は、**https://www.epti-info.naltec.go.jp** です。

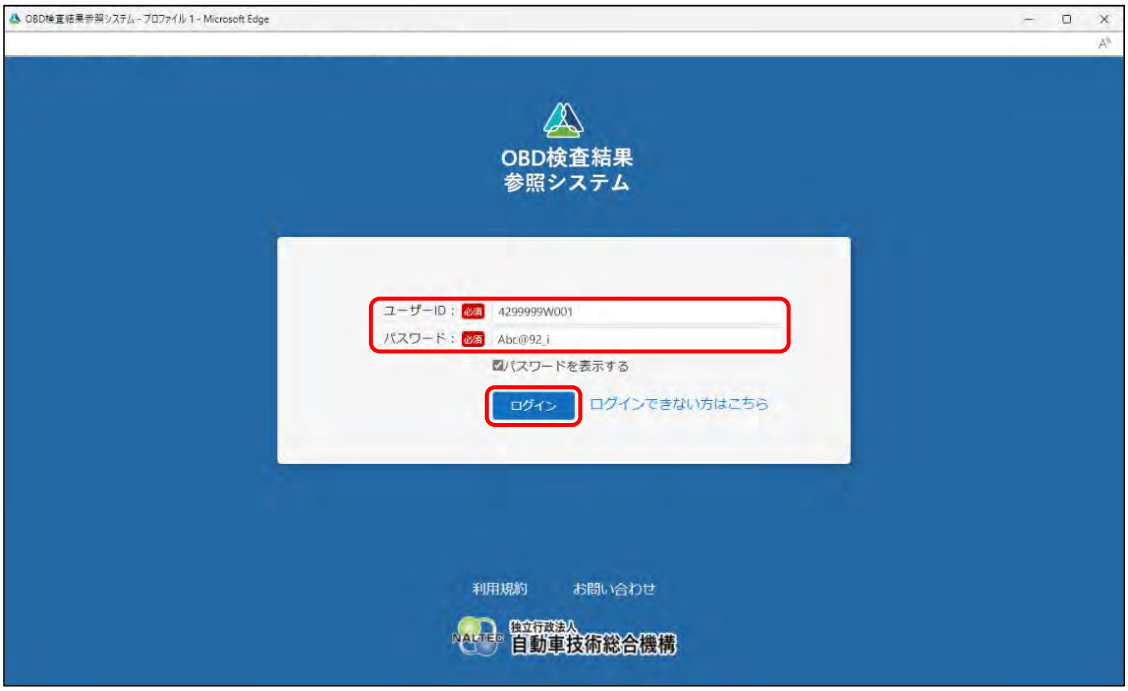
メモ

- OBD 検査ポータルからもシステムにアクセスできます。
- 以下の画面が表示された場合、①の証明書を選択し、②の「OK」を押してください。



ログイン画面が表示されます。

2. 管理責任者から通知された「ユーザーID」、「パスワード」（初期パスワード）を入力し、「ログイン」を押す

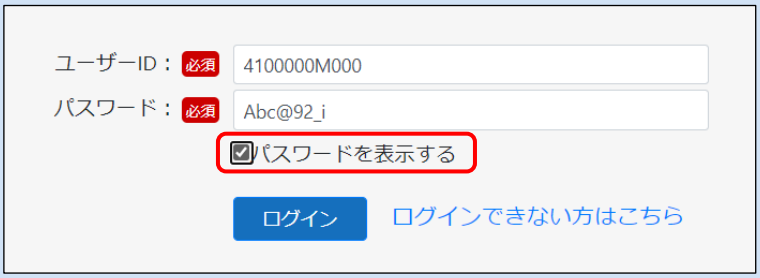


ご注意

- ユーザーID および初期パスワードが分からない場合は、管理責任者または統括管理責任者に確認してください。
- 初期パスワードの有効期限は、自動発行されてから 30 日間です。初期パスワードの有効期限が切れていてログインできない場合は、管理責任者または統括管理責任者にお問い合わせください。
- 正しいユーザーID とパスワードを入力してもログインできない場合は、端末にクライアント証明書がインストールされているか、管理責任者または統括管理責任者に確認してください。
- パスワードを 5 回間違えて入力すると、15 分間アカウントがロックされます。15 分経ってから、もう一度ログイン操作を行ってください。
- 特定 DTC 照会アプリにて、初回のログインを行っている場合、本手順は不要です。

メモ

「パスワードを表示する」にチェックを付けると、入力したパスワードが確認できます。



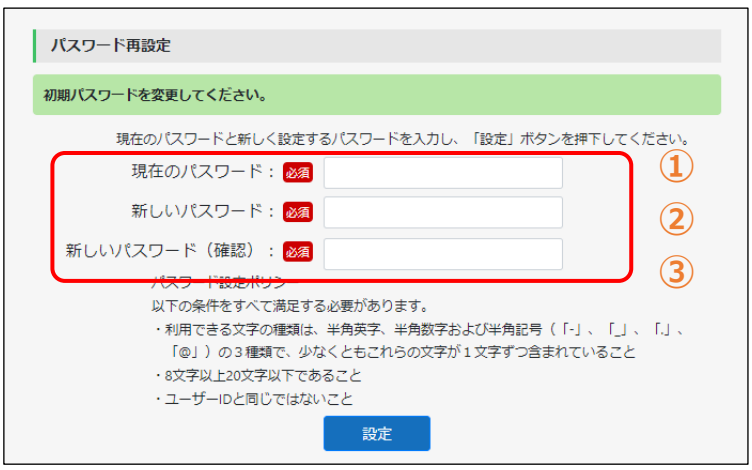
パスワード再設定の画面が表示されます。

3. パスワードを入力する

① 「現在のパスワード」に初期パスワードを入力します。

② 「新しいパスワード」に新たに決めたパスワードを入力します。

③ 「新しいパスワード（確認）」に②で入力したパスワードと同じパスワードを入力します。

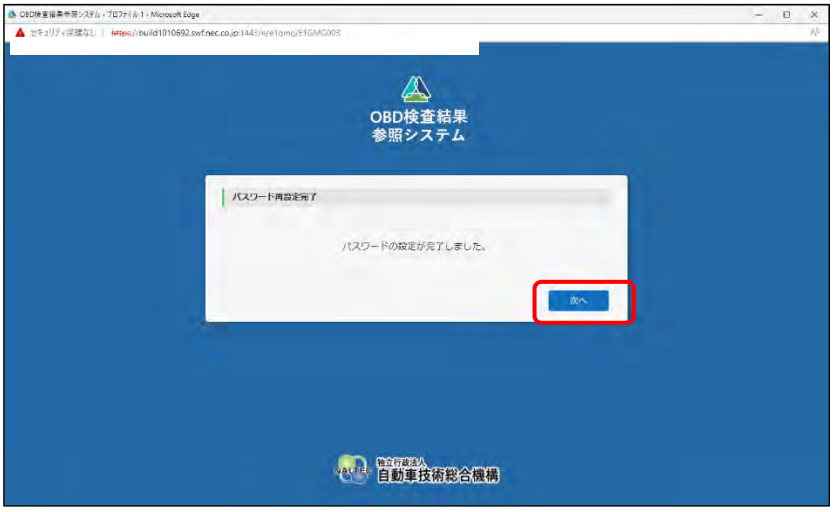


ご注意

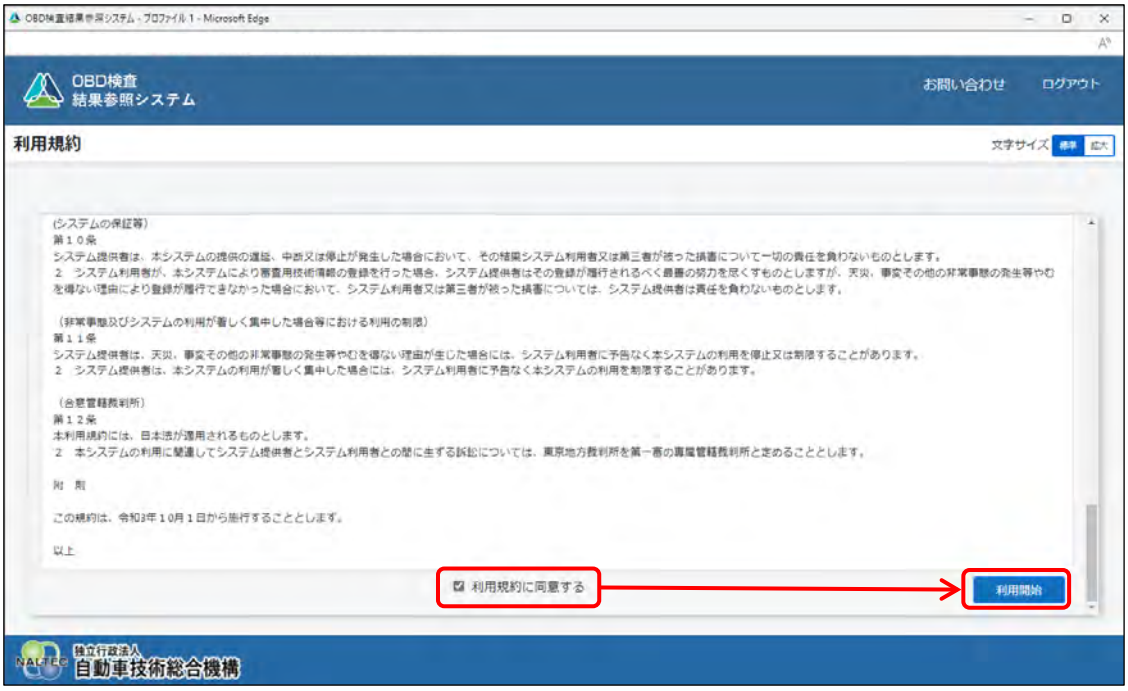
- パスワードは、以下の条件をすべて満たす必要があります。
  - 以下の 3 種類を、それぞれ 1 文字以上使用すること
    半角英字：A～Z、a～z
    半角数字：0～9
    半角記号：「-」「_」「.」「@」
    例）Abc@92_i
  - 8 文字以上 20 文字以下で、ユーザーID と異なる文字列であること
  - 初期パスワードと異なる文字列であること
- 本システムのパスワードを変更すると、工員・検査員の場合は、特定 DTC 照会アプリのパスワードも変更されます 。
  管理責任者・統括管理責任者の場合は、利用者管理システムのパスワードも変更されます。

4.　「設定」を押す

5.　「次へ」を押す



6. 利用規約を確認し、「利用規約に同意する」にチェックを付け、「利用開始」を押す



本システムにログインすると、《お知らせ》画面が表示されます。

以上で、本システムへのログイン（初回）の操作は完了です。次回からは、設定した新しいパスワードでログインしてください。

■本システムにログインする（2 回目以降）

1. URL を入力してシステムにアクセスする

ブラウザのアドレスバーに URL を入力し、「Enter」キーを押します。

本システムの URL は、**https://www.epti-info.naltec.go.jp** です。

メモ

- OBD 検査ポータルからもシステムにアクセスできます。OBD 検査ポータルの詳細については「7.1 エラーメッセージと対処方法」を参照してください。
- 以下の画面が表示された場合、①の証明書を選択し、②の「OK」を押してください。

ログイン画面が表示されます。

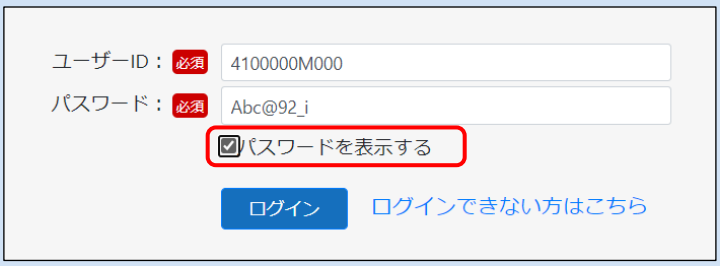
2. ユーザーID とパスワードを入力し、「ログイン」を押す

ご注意

- ユーザーID およびパスワードを忘れた場合は、管理責任者または統括管理責任者に確認してください。
- 正しいユーザーID とパスワードを入力してもログインできない場合は、端末にクライアント証明書がインストールされているか、管理責任者または統括管理責任者に確認してください。
- パスワードを 5 回間違えて入力すると、15 分間アカウントがロックされます。15 分経ってから、もう一度ログイン操作を行ってください。

メモ

- 工員・検査員の場合、ユーザーID、パスワードは「特定 DTC 照会アプリ」と共通です。管理責任者・統括管理責任者の場合は、「利用者管理システム」と共通です。
- 「パスワードを表示する」にチェックを付けると、入力したパスワードが確認できます。



利用規約の確認画面が表示された場合

利用規約が更新された場合には《利用規約》画面が表示されます。利用規約を確認し、「利用規約に同意する」のチェックボックスにチェックを入れて同意してください。

ログインすると、《お知らせ》画面が表示されます。

以上で、本システムへのログイン（2 回目以降）の操作は完了です。必要に応じて次の操作に進んでください。

■本システムからログアウトして終了する

本システムを終了するときはログアウトしてください。

1. メニューの下にある「ログアウト」を押す

2. 「OK」を押す

システムからログアウトし、《ログイン》画面に戻ります。

以上で、ログアウトの操作は完了です。

メモ

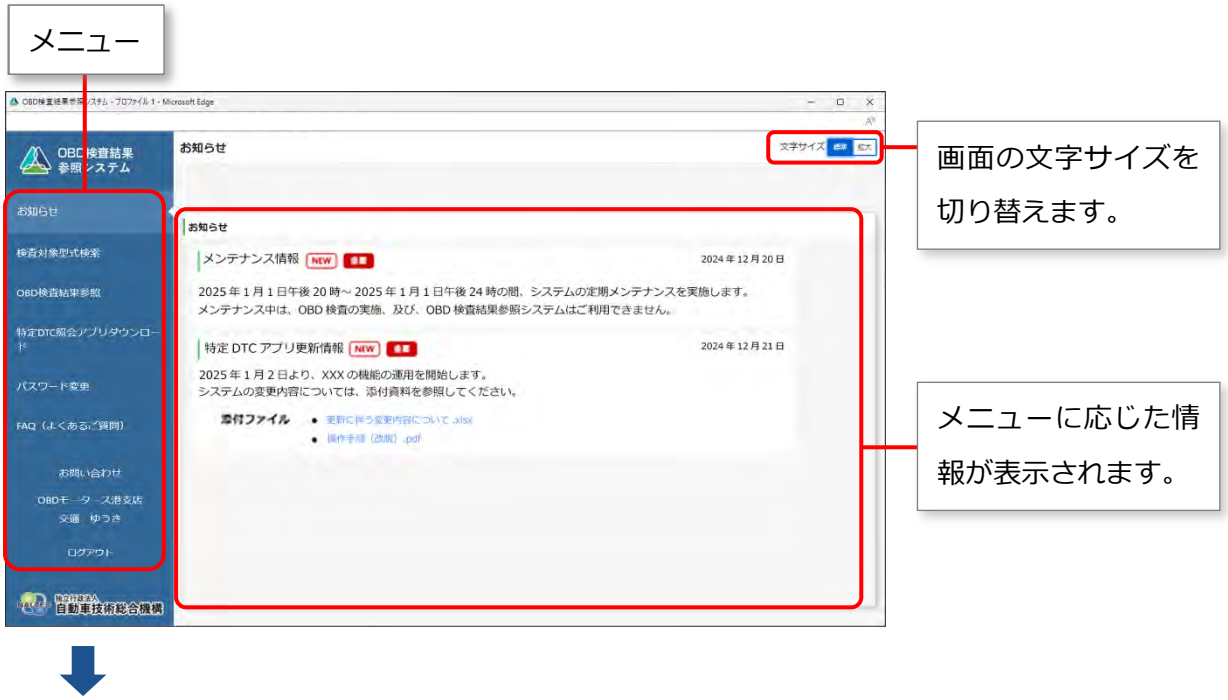
ログインしたまま一定時間操作しないと、《セッション切断》画面が表示されます。

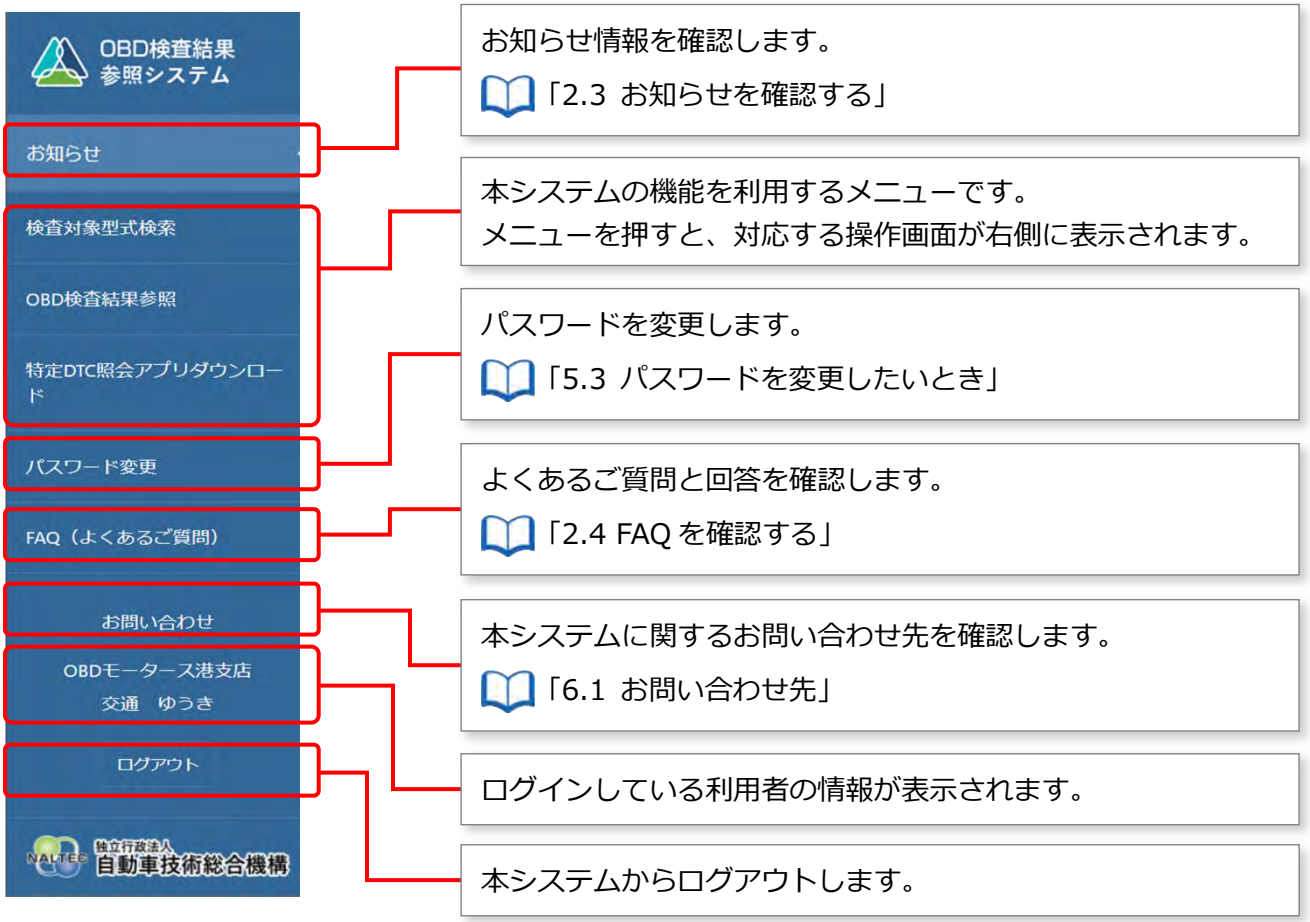
「5.4　《セッション切断》画面が表示されたとき」を参照して操作を行ってください。

2.2　画面の操作

■メニューを選択して操作する

本システムの画面の左側にはメニューが常に表示されています。メニューを選択して操作を行います。



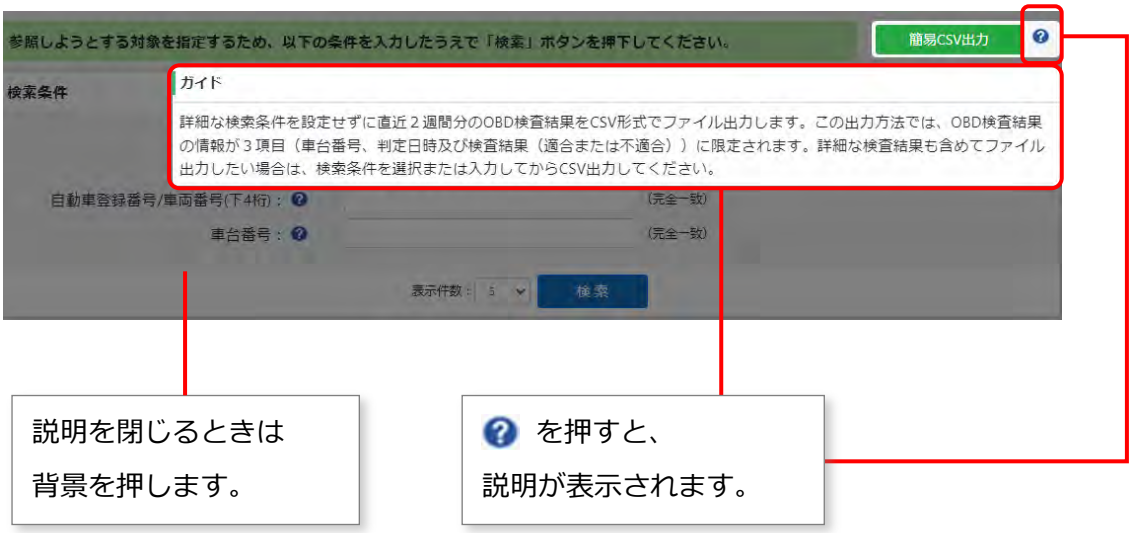


メモ

ログインするユーザーの権限によって、表示されるメニューが異なります。

■項目のガイドを表示する

説明が必要な項目の横には、 が表示されています。 を押すと、その項目の説明が表示されます。



説明を閉じるときは
背景を押します。

を押すと、
説明が表示されます。

■前の画面に戻る

画面に「戻る」のボタンが表示されている場合は、「戻る」を押すと前の画面に戻ることができます。

「戻る」を押すと、１つ前の画面に戻ります。

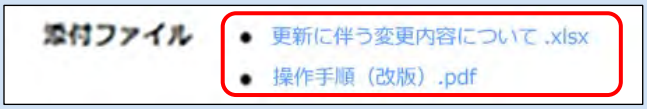
2.3　お知らせを確認する

メニューの「お知らせ」を押すと、お知らせ情報が表示されます。

本システムのメンテナンス情報や更新情報を確認できます。

メモ

参照する資料がある場合には、「添付ファイル」にファイル名のリンク（青文字）が表示されます。ファイル名を押すと、資料の内容を確認できます。



2.4　FAQ を確認する

システムを利用するときの補足説明やよくある問い合わせと回答（FAQ）を確認できます。
操作に不明点があるときなどに、類似の問い合わせを確認してください。

メニューの「FAQ（よくあるご質問）」を押すと、FAQ 情報が表示されます。

＋を押すと、カテゴリに対応したよくあるご質問とその回答が表示されます。

各種マニュアルのリンク（青文字）を押すと、マニュアルの内容を確認できます。

3 OBD 検査対象かどうかを確認する

3.1 概要

OBD 検査の対象となる車両について問い合わせがあったとき、型式や初度登録年月または初度検査年月を検索して、検査の対象車両かどうかを確認します。

また、OBD 検査の対象車両である場合は、検査用スキャンツールを接続するための車両側の接続端子の位置情報などを確認することができます。

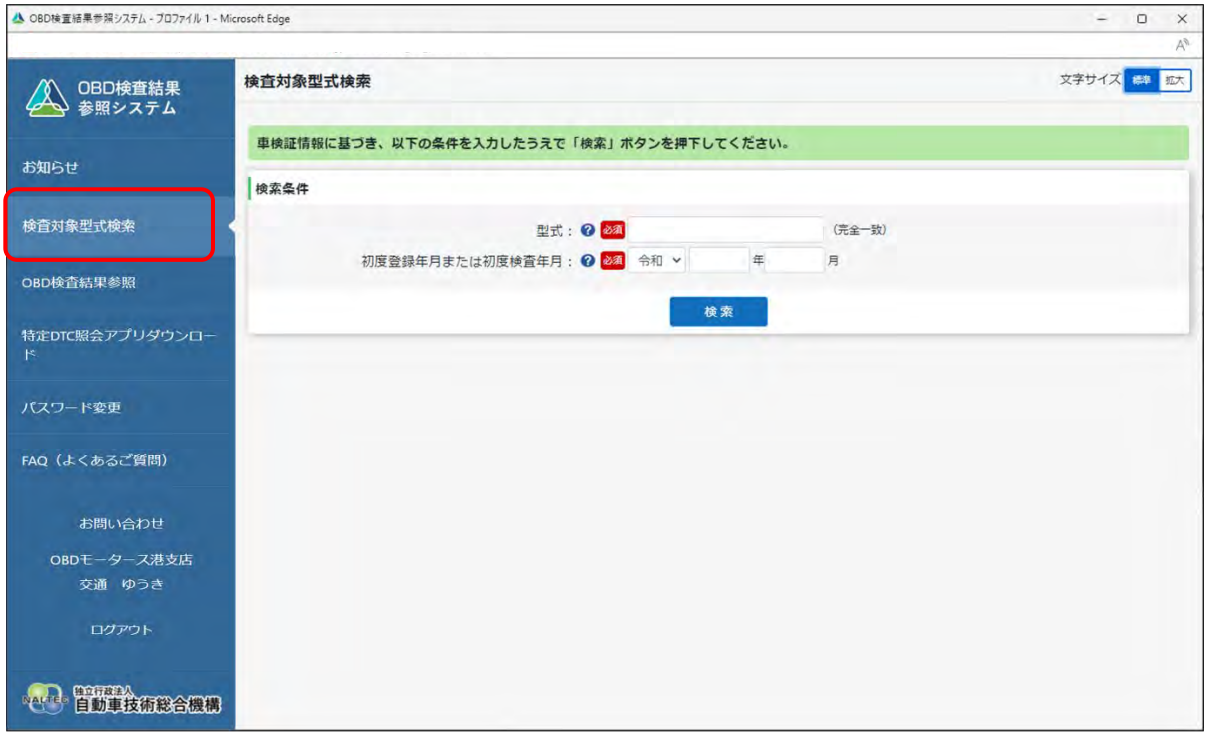
ご注意

OBD 検査対象かどうかを確認するには、車検証（自動車検査証）に記載されている型式などの情報が必要です。

3.2　OBD 検査対象の型式かどうかを検索する

1. メニューの「検査対象型式検索」を押す

検索条件を入力する画面が表示されます。



2. 型式を入力する

車検証（自動車検査証）に記載されている型式の数字や文字を、すべて入力します。

普通自動車の場合

軽自動車の場合

3. 「初度登録年月または初度検査年月」を入力する

車検証（自動車検査証）に記載されている「初度登録年月」または「初度検査年月」を確認して選択します。

普通自動車の場合

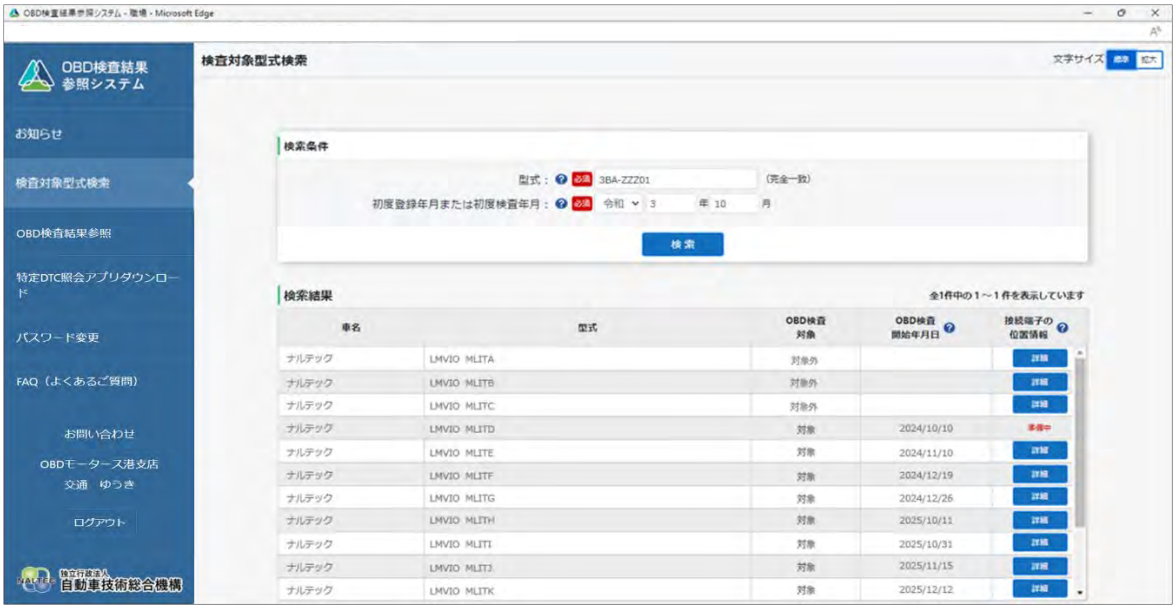
軽自動車の場合

メモ

「初度登録年月」は、運輸支局（または軽自動車検査協会）に初めて車両を登録申請し受理された年月（登録年月）です。軽自動車の場合は、「初度検査年月」として記載されています。

4.　「検索」を押す

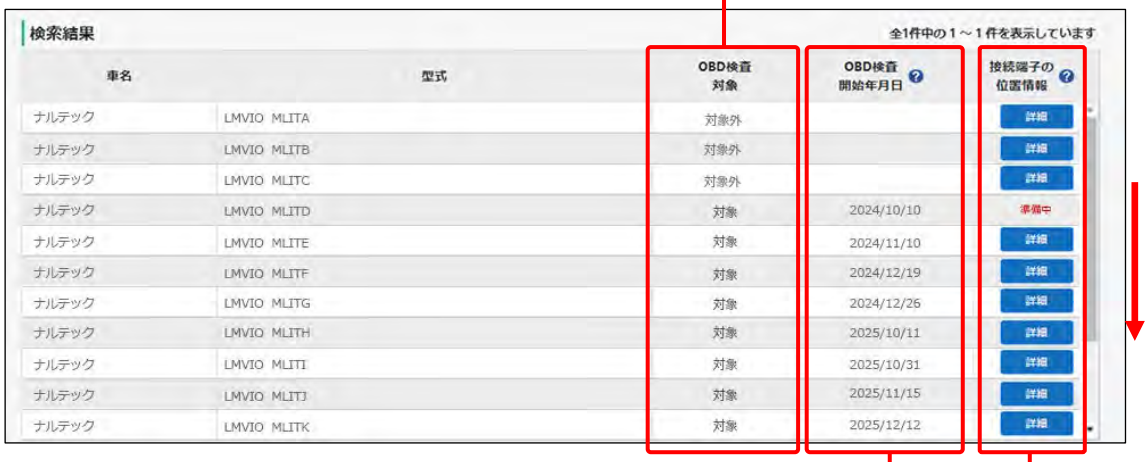
検索結果が一覧表示されます。



5. 検索結果を確認する

検索結果が多い場合は、必要に応じて画面を下にスクロールして確認します。

検索した車両の型式が OBD 検査の対象かどうかが表示されます。



検索した車両の型式が OBD 検査の対象の場合、以下のうち最も遅い年月日が表示されます。

- OBD 検査の検査開始年月日
  （令和６年１０月１日（輸入車は令和７年１０月１日））
- 諸元表の「指定年月日/新型届出年月日」から 2 年後の年月日
- 「初度登録年月」または「初度検査年月」から 10 か月後の年月日

検索した車両の型式が OBD 検査の対象の場合、「接続端子の位置情報」の欄に「詳細」ボタンまたは「準備中」が表示されます。

- 「詳細」を押すと、OBD 検査時に車両と検査用スキャンツールを繋ぐ接続端子の位置情報を確認できます。
  「3.3 接続端子の位置情報を確認する」
- 「準備中」は、OBD 検査に必要な情報がメンテナンス中の場合に表示されます。この場合、接続端子の位置情報は確認できません。

以上で、OBD 検査対象の型式検索の操作は完了です。必要に応じて 「3.3 接続端子の位置情報を確認する」に進んでください。

3.3　接続端子の位置情報を確認する

接続端子の位置情報で確認できる項目は、以下のとおりです。

- 接続端子の位置
- VCI の向き
- 自由画像登録

1. 接続端子の位置情報を確認したい車両の「詳細」を押す

「準備中」は OBD 検査の対象ではあるが、OBD 検査に必要な情報がメンテナンス中の場合に表示されます。
この表示の場合、接続端子の位置情報は確認できません。

《接続端子の位置情報》画面が表示されます。

2. 表示された内容を確認する

接続端子の位置や VCI の向きなどを確認します。

左右ハンドルの情報がある場合、タブを切り替えられます。

接続端子の位置を図中の赤いマーク で示しています。
また、接続端子のカバーの有無を記載しています。

接続端子の位置を写真で示しています。

VCI を挿入する向きについて記載しています。

この画面を閉じます。

情報が複数ページある場合、「|<」「<」「>」「>|」 または数字を押して、ページを切り替えます。

確認が完了したのち、「閉じる」をして画面を閉じます。《検査対象型式検査》画面に戻ります。

4 OBD 検査結果を確認する

4.1 概要

OBD 検査や OBD 確認を実施した車両について、検査の判定日や車両情報などから OBD 検査結果を検索して確認できます。

また、検索した対象車両について OBD 検査結果の詳細も確認できます。

事業場で実施した OBD 検査の結果を外部システムなどに取り込む場合は、CSV 形式で出力します。帳票として確認したい場合は、PDF ファイルとして出力します。

ご注意

OBD 検査結果には機密情報が含まれているため、取り扱いには十分注意してください。

メモ

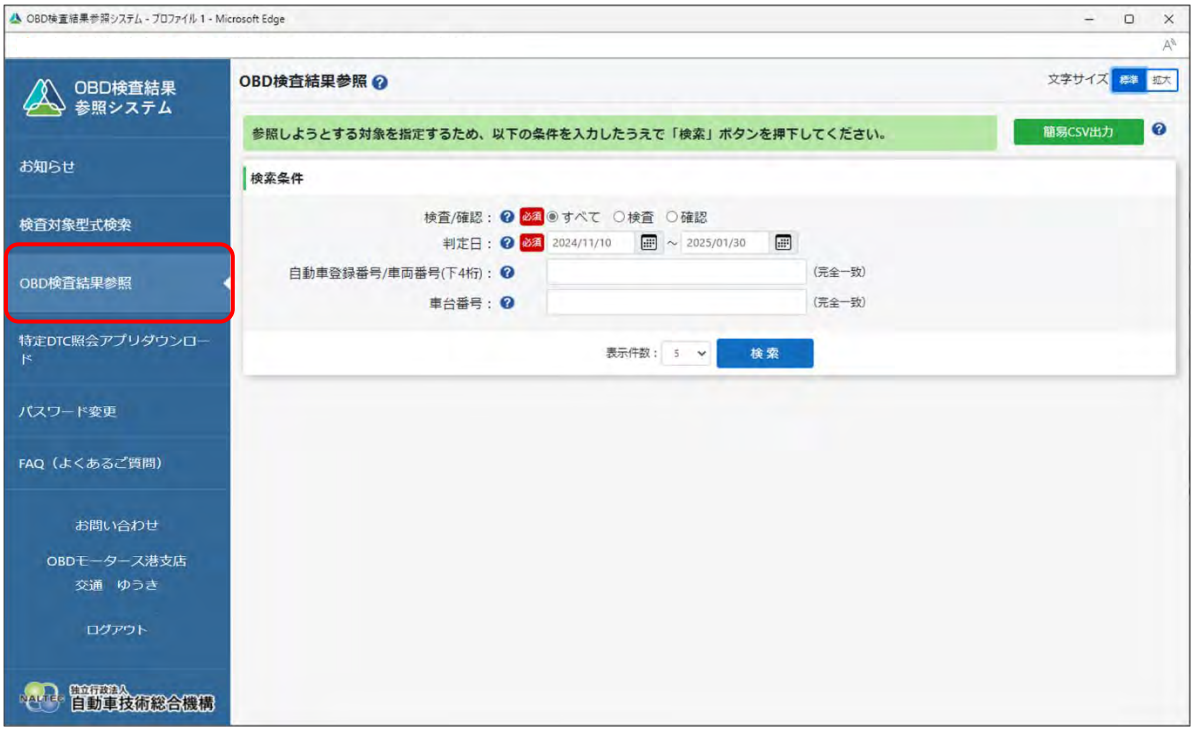
検索条件として設定できる判定日の範囲は最大で 3 年間となります。

4.2　OBD 検査結果を検索する

所属する事業場（統括管理責任者は、管理する事業場）で実施した OBD 検査や OBD 確認の結果から、確認したい対象を絞り込んで検索できます。

1. メニューの「OBD 検査結果参照」を押す

検索条件を入力する画面が表示されます。



上記の画面は、工員または検査員が本システムにログインした場合に表示されます。

管理責任者または統括管理責任者がログインした場合

以下の画面が表示されます。

メモ

事業場の名称を変更している場合、検索条件には現在の事業場の名称が表示されます。

ただし、OBD 検査結果の詳細については、判定日における事業場の名称が表示されます。

ご注意

- 管理責任者は、デフォルトで所属する事業場が表示されます。（事業場の選択は不要です。）
- 統括管理責任者は、プルダウンより管理する事業場を選択してください。

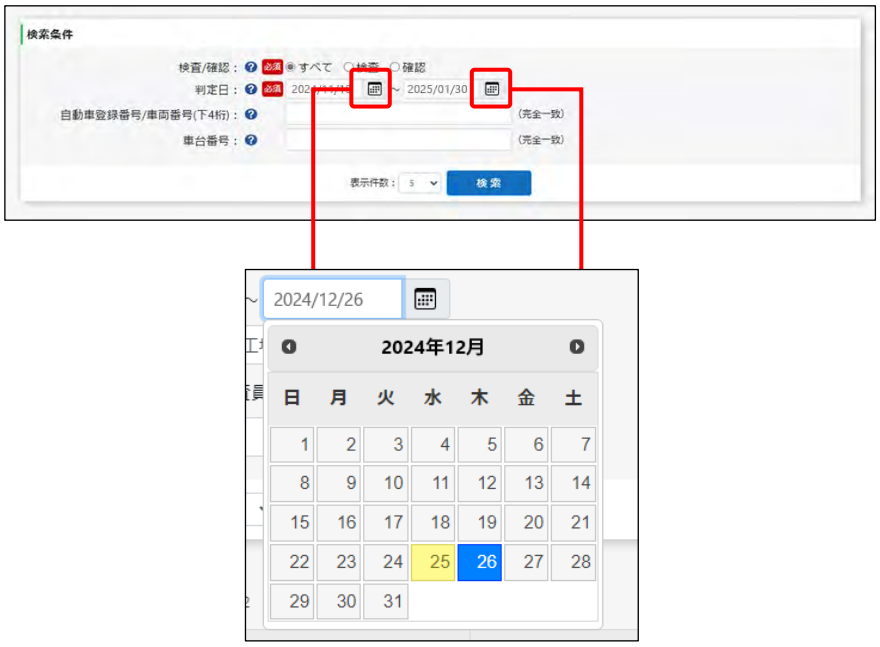
2.　「検査／確認」で、確認したい検査結果を選択する

ボタン	説明
すべて	OBD 検査、OBD 確認両方の検査結果を検索します。
検査	OBD 検査の検査結果を検索します。
確認	OBD 確認の検査結果を検索します。

3. 確認したい検査結果の判定日を指定する

判定日とは、OBD 検査判定日（検査を実施した日）です。

（カレンダーボタン）を押して、カレンダー表示から判定日の期間（開始年月日から終了年月日）を指定します。期間は、3 年以内で指定してください。



4. 必要に応じて、自動車登録番号または車両番号の下 4 桁（数字部分）を入力する

自動車登録番号または車両番号は、車検証（自動車検査証）またはナンバープレートに記載されています。

ナンバープレートの一連番号（1 桁～4 桁の数字）を入力します。ハイフンは入力しません。

5. 必要に応じて、車台番号を入力する

車検証（自動車検査証）に記載されている車台番号の数字や文字を、すべて入力します。

普通自動車の場合

軽自動車の場合

6. 「検索」を押す

表示件数は、 を押してプルダウンリストから選択できます。

《OBD 検査結果参照》画面が表示されます。

No.	項目	説明
①	ページ	検索結果が複数ページある場合、「＜」／「＞」または数字を押して、表示情報のページを切り替えます。
②	検査結果	検査結果の適合／不適合が表示されます。 メモ OBD 確認の場合、「適合」「不適合」の表示は、実際の検査結果とは関係ありません。
③	排ガス	排ガスの検査結果（MIL／レディネス／通信／特定 DTC）が表示されます。 MIL：ON／OFF レディネス：適合／不適合 通信：成立／不成立 特定 DTC：適合／不適合
④	安全	安全（特定 DTC）の適合／不適合が表示されます。
⑤	操作	「詳細」を押すと、OBD 検査結果の詳細が表示されます。 「■OBD 検査結果の詳細を確認する」（P. 35）を参照
⑥	簡易 CSV 出力	CSV ファイル「OBD 検査結果参照（簡易 CSV）」を出力します。 「4.3 検査結果を CSV ファイルに出力する」を参照
⑦	CSV 出力	CSV ファイル「OBD 検査結果参照」を出力します。 「4.3 検査結果を CSV ファイルに出力する」を参照

以上で、OBD 検査結果の確認ができました。各検査結果についての詳細を確認する場合は、

「■OBD 検査結果の詳細を確認する」（P. 35）を参照してください。

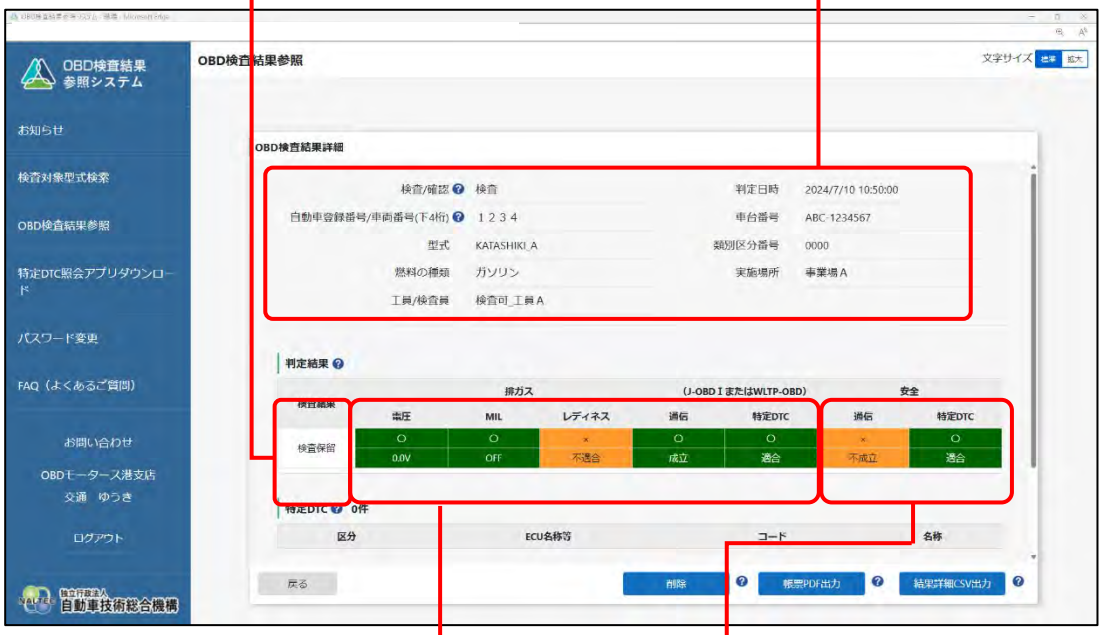
■OBD 検査結果の詳細を確認する

1.　《OBD 検査結果参照》画面で、確認したい検査の「詳細」を押す

OBD 検査結果の詳細や特定 DTC の情報などが表示されます。

検査の総合判定が表示されます。

検索した条件が表示されます。



排ガス（電圧／MIL／レディネス／通信／特定 DTC）の判定結果が表示されます。

- 緑色（〇）：適合
- オレンジ色（×）：不適合
- グレー：判定不可

安全（通信／特定 DTC）の判定結果が表示されます。

- 緑色（〇）：適合
- オレンジ色（×）：不適合
- グレー：判定不可

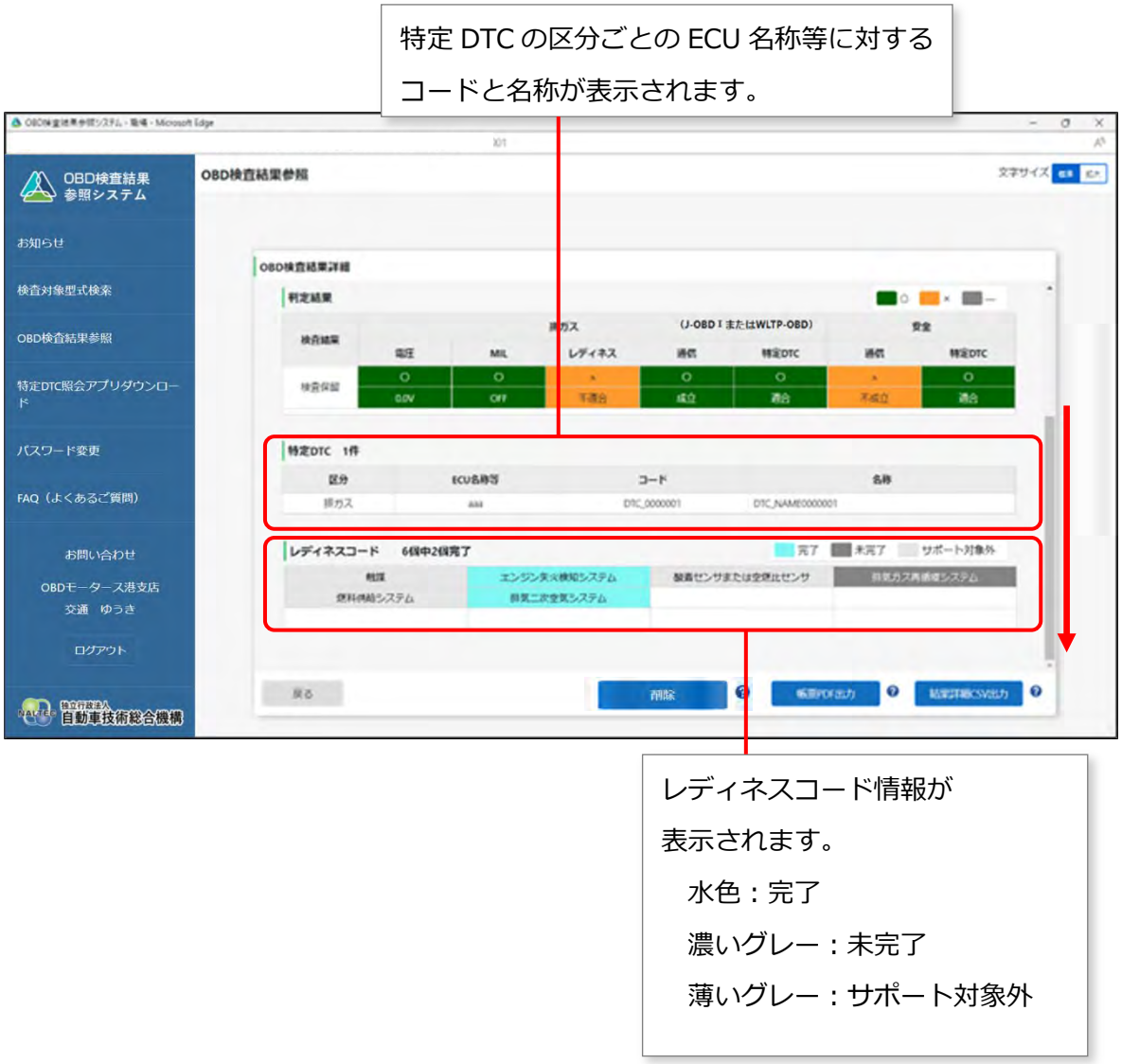
メモ

事業場の名称を変更している場合、検索条件には現在の事業場の名称が表示されます。

ただし、OBD 検査結果の詳細については、判定日における事業場の名称が表示されます。

画面を下にスクロールすると、「特定 DTC」や「レディネスコード」が表示されます。

「特定 DTC」では、検出された特定 DTC を全件確認できます。



以上で、OBD 検査結果の詳細確認の操作は完了です。検査結果を出力する場合は、

「4.3 検査結果を CSV ファイルに出力する」、「4.4 検査結果を帳票 PDF ファイルに出力する」に進んでください。

メモ

「削除」ボタンの使い方については、「5.8 検査結果を削除する」を参照してください。

4.3　検査結果を CSV ファイルに出力する

必要に応じて、OBD 検査結果の詳細を CSV ファイルに出力します。出力した CSV ファイルは、外部のシステムに取り込んで利用することもできます。CSV 出力には、以下の 3 種類があります。

種類	出力ファイル名	出力内容
簡易 CSV 出力	OBDRESULT_SIMPLE_[事業場 ID].csv	OBD 検査モードで実施した簡易的な検査結果（車台番号、判定日時、検査結果）が出力されます。 **ご注意** OBD 確認モードの結果は出力されません。
CSV 出力	OBDRESULT_yyyymmddhhmmss_[事業場 ID].csv	車台番号、判定日時、検査結果などに加えて、排ガス OBD および安全 OBD の検査結果が出力されます。
結果詳細 CSV 出力	OBDRESULT_yyyymmddhhmmss_[事業場 ID]_[車台番号].csv	車台番号、受検日、検査結果などに加えて、排ガス OBD および安全 OBD の項目についての詳細な適否や状態が出力されます。

メモ

CSV 出力の操作は、上記の種類すべてにおいて共通です。

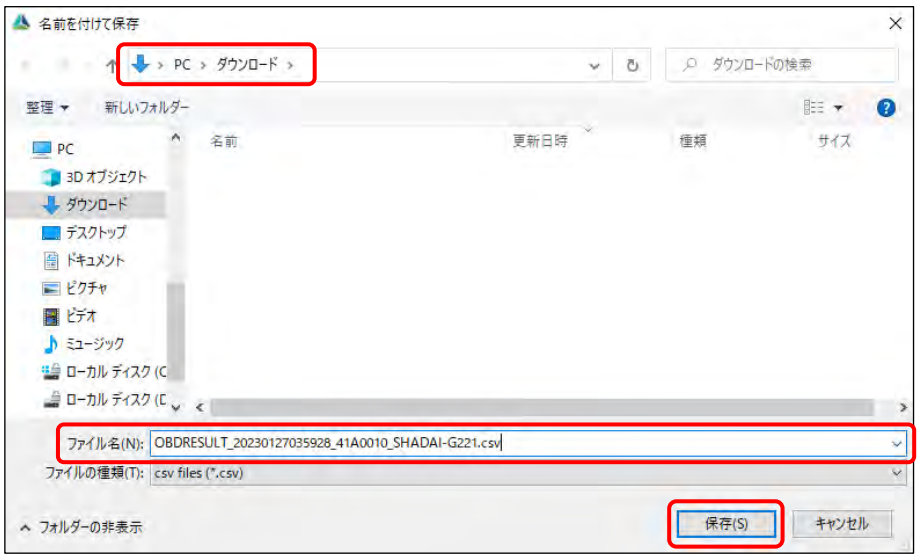
ここでは、「結果詳細 CSV 出力」の操作を例に説明します。

1.　《OBD 検査結果詳細》画面で、「結果詳細 CSV 出力」を押す

「ダウンロード」ダイアログが表示されます。

2.　「名前を付けて保存」を選択する

3.　保存先のフォルダーを選択し、「保存」を押す



「OBDRESULT_yyyymmddhhmmss_[事業場 ID]_[車台番号].csv」というファイル名で、OBD 検査結果の CSV ファイルが保存されます。

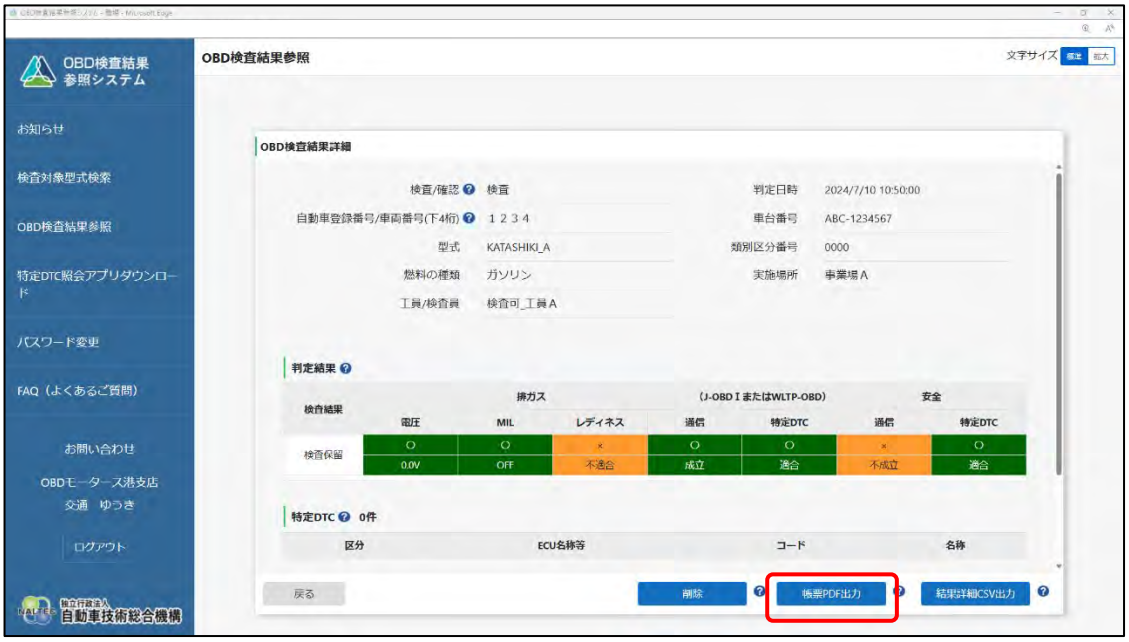
CSV ファイルには、車台番号、判定日時、検査結果など各情報の文字列が、カンマで区切られた状態で出力されます。

以上で、OBD 検査結果の CSV ファイルへの出力の操作は完了です。

4.4　検査結果を帳票 PDF ファイルに出力する

必要に応じて OBD 検査結果の詳細を PDF ファイルに出力します。出力した PDF ファイルは、印刷して受検者にお渡しできます。

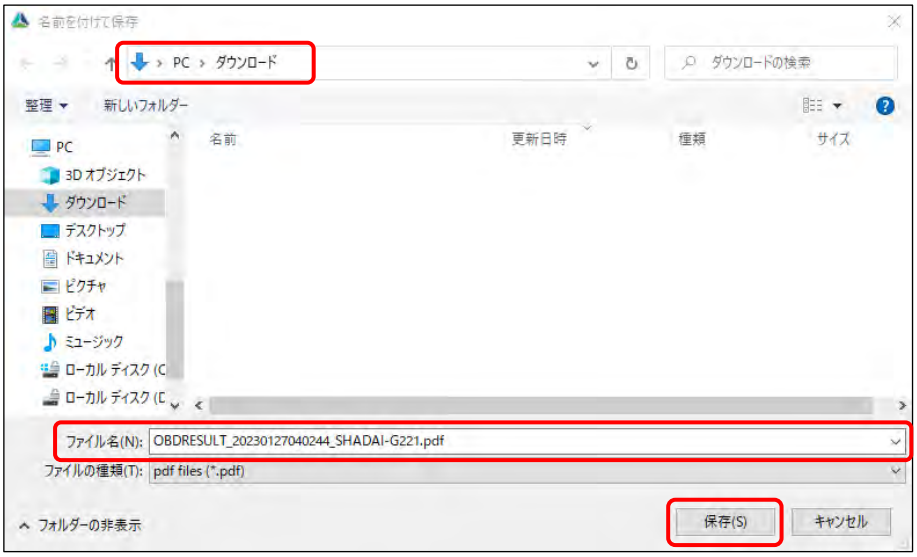
1.　《OBD 検査結果詳細》画面で、「帳票 PDF 出力」を押す



「ダウンロード」ダイアログが表示されます。

2.　「名前を付けて保存」を選択する

3. 保存先のフォルダーを選択し、「保存」を押す



「OBDRESULT_yyyymmddhhmmss_［車台番号］.pdf」という名前の PDF ファイルが保存されます。

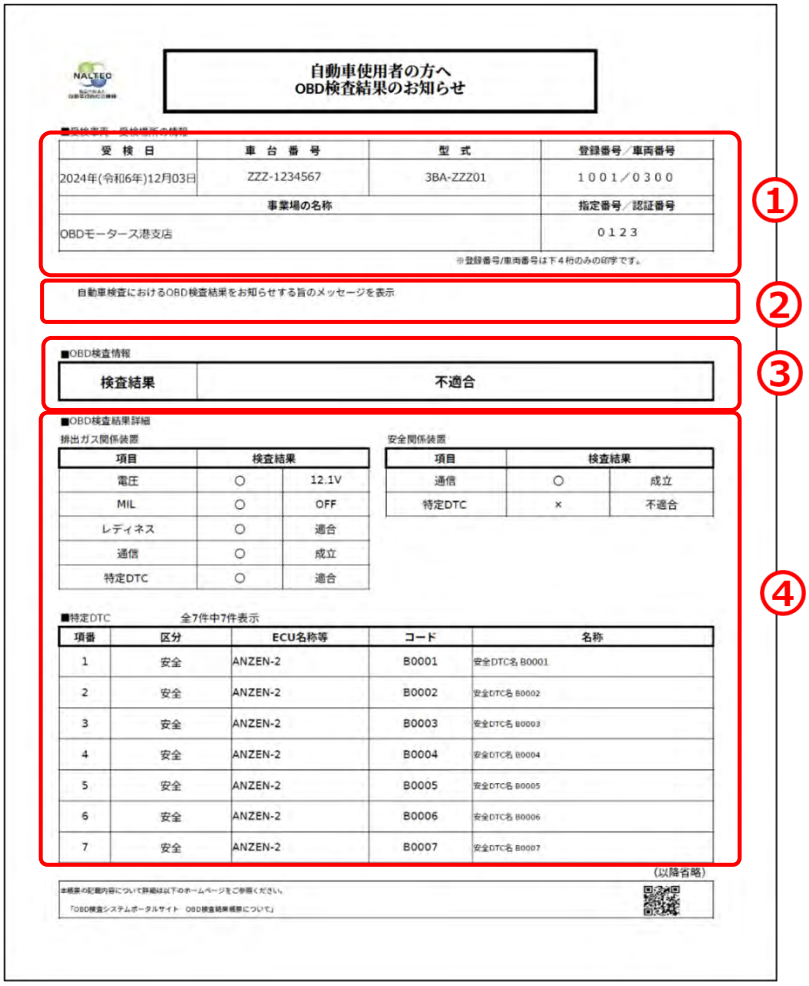
メモ

ファイル名の「yyyymmdd」は年月日、「hhmmss」は時間を示しています。

例）車台番号「ZZZ-1234567」の車両で、2024 年 12 月 03 日 14 時 01 分 12 秒に OBD 検査を実施した場合のファイル名は、以下となります。

OBDRESULT_20241203140112_[ZZZ-1234567].pdf

4. 保存された PDF ファイルを開く



No.	項目	説明
①	受検車両・受検場所の情報	受検日や受検車両、受検場所などの、受検時の情報が出力されます。
②	メッセージ	自動車検査に関するメッセージが出力されます。
③	OBD 検査情報	OBD 検査または確認の結果が出力されます。 適合の場合：適合 不適合の場合：不適合 OBD 検査不要で終了した場合：OBD 検査対象外
④	OBD 検査結果詳細	OBD 検査または確認結果の詳細が出力されます。 出力される項目は、「■OBD 検査結果の詳細を確認する」（P.35）で表示される情報と同等です。

メモ

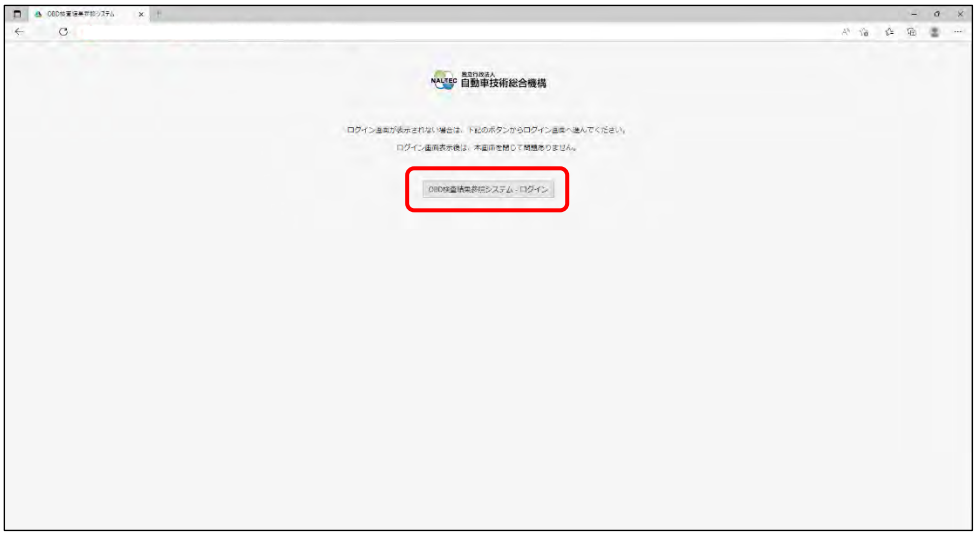
警告灯判定を行った場合、「排ガス」「安全」の欄外に”※警告灯判定結果”と表示されます。

以上で、OBD 検査結果の PDF ファイルへの出力の操作は完了です。

5 こんなときは

5.1　ログイン画面が表示されないとき

システムにアクセスしたときに、ログイン画面が表示されない場合は、トップページが表示されます。
その場合は、「OBD 検査結果参照システム － ログイン」を押すと、ログイン画面が表示されます。



システムにアクセスしたときに、ログイン画面を自動表示したい場合は、Web ブラウザの設定でポップアップを許可してください。設定方法については、Web ブラウザのヘルプを参照してください。

5.2　ユーザーID またはパスワードを忘れたとき

ユーザーID またはパスワードを忘れたときは、管理責任者または統括管理責任者に連絡してください。

管理責任者は、利用者管理システムにより、利用者情報の確認や、パスワードのリセットが行えます。

ご注意

- ユーザーID、パスワードは、個人を特定する重要な情報です。他者との共有や他者への貸出しを行わないでください。
- パスワード漏洩のリスクを減らすため、パスワードのメモを作成しないでください。また、使用する端末にパスワードを記憶させないでください。
- パスワード漏洩のおそれがある場合には、パスワードを変更してください。

5.3　パスワードを変更したいとき

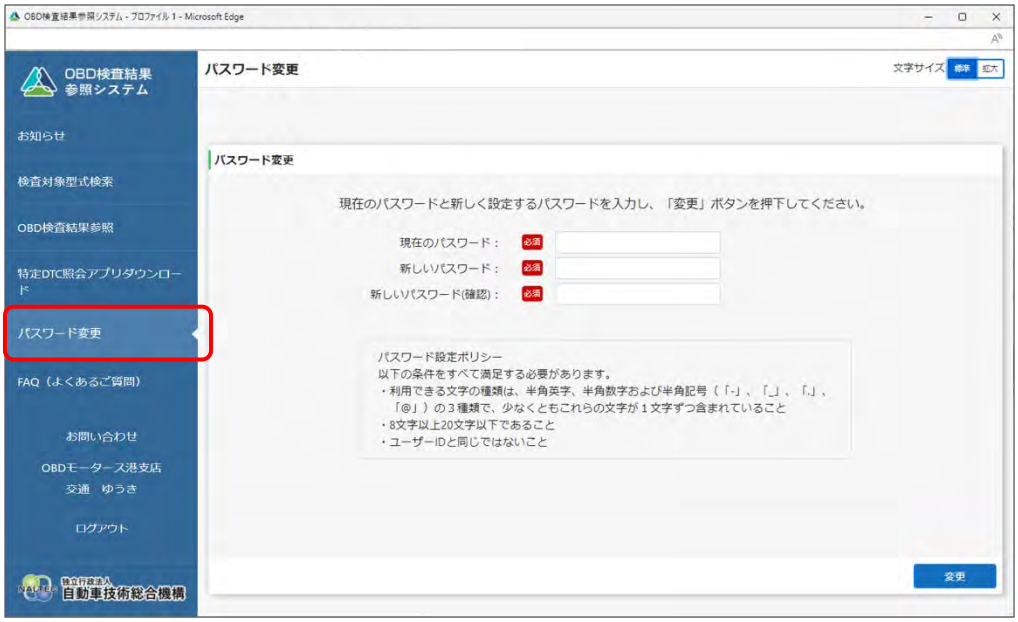
事前に登録された利用者のパスワードを変更します。

ご注意

本システムのパスワードを変更すると、特定 DTC 照会アプリのパスワードも変更されます。

1.　メニューの「パスワード変更」を押す

《パスワード変更》画面が表示されます。



2. パスワードを入力する

① 「現在のパスワード」に現在のパスワードを入力します。

② 「新しいパスワード」に新たに決めたパスワードを入力します。

③ 「新しいパスワード（確認）」に②で入力したパスワードと同じパスワードを入力します。

ご注意

- パスワードは、以下の条件をすべて満たす必要があります。
  - 以下の 3 種類を、それぞれ 1 文字以上使用すること
    半角英字：A～Z、a～z
    半角数字：0～9
    半角記号：「-」「_」「.」「@」
    例）Abc@92_i
  - 8 文字以上 20 文字以下で、ユーザーID と異なる文字列であること
  - 現在使用中のパスワードと異なる文字列であること
- 本システムのパスワードを変更すると、工員・検査員の場合は、特定 DTC 照会アプリのパスワードも変更されます 。
  管理責任者・統括管理責任者の場合は、利用者管理システムのパスワードも変更されます。

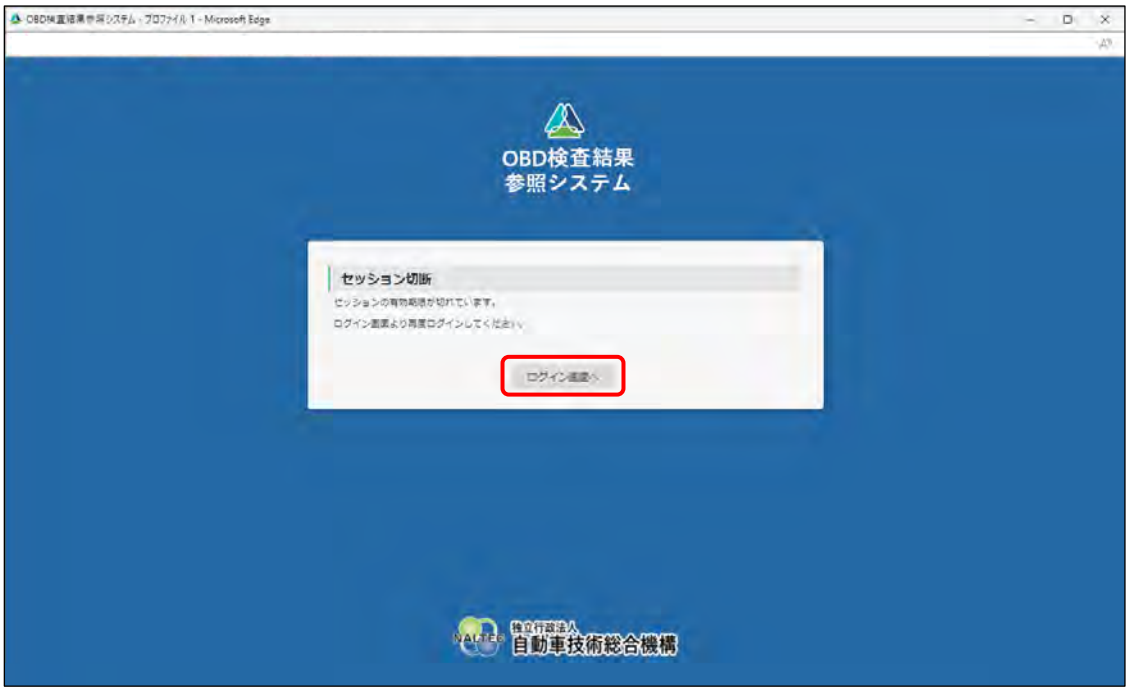
3.　「変更」を押す

《パスワード変更完了》画面が表示されます。

以上で、パスワードの変更の操作は完了です。次回からは、設定した新しいパスワードでログインしてください。

5.4　《セッション切断》画面が表示されたとき

本システムを一定時間操作しないと、自動的にシステムからログアウトし、《セッション切断》画面が表示されます。この場合は、「ログイン画面へ」を押して、再度ログインを行ってください。



ログイン方法については、「■本システムにログインする（2 回目以降）」（P. 15）を参照してください。

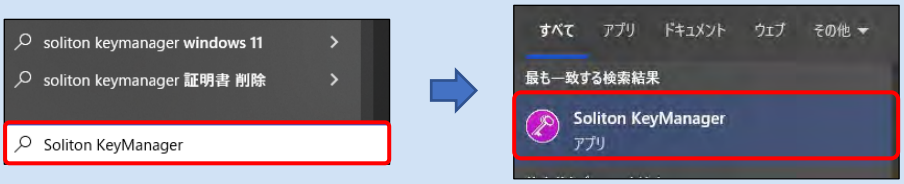
5.5　クライアント証明書の有効期限が切れたとき

クライアント証明書には有効期限があります。クライアント証明書の有効期限が近付くと、「お知らせ」メニューで通知されます。有効期限のお知らせが通知された場合、クライアント証明書を更新してください。クライアント証明書の更新は、有効期限内、有効期限切れ後のどちらでも可能です。

1. デスクトップの「Soliton KeyManager」アイコンを実行する

メモ

- アイコンを実行する操作については、お使いの端末の設定に従ってください。
  例）PC の場合、アイコンをダブルクリックします。
- アイコンが見つからない場合は、PC または Windows タブレットの検索欄に「Soliton KeyManager」と入力して、検索結果に表示された「Soliton KeyManager」アプリを実行します。



- Soliton KeyManager がインストールされていない場合は、管理責任者または統括管理責任者に確認してください。

Soliton KeyManager が起動します。

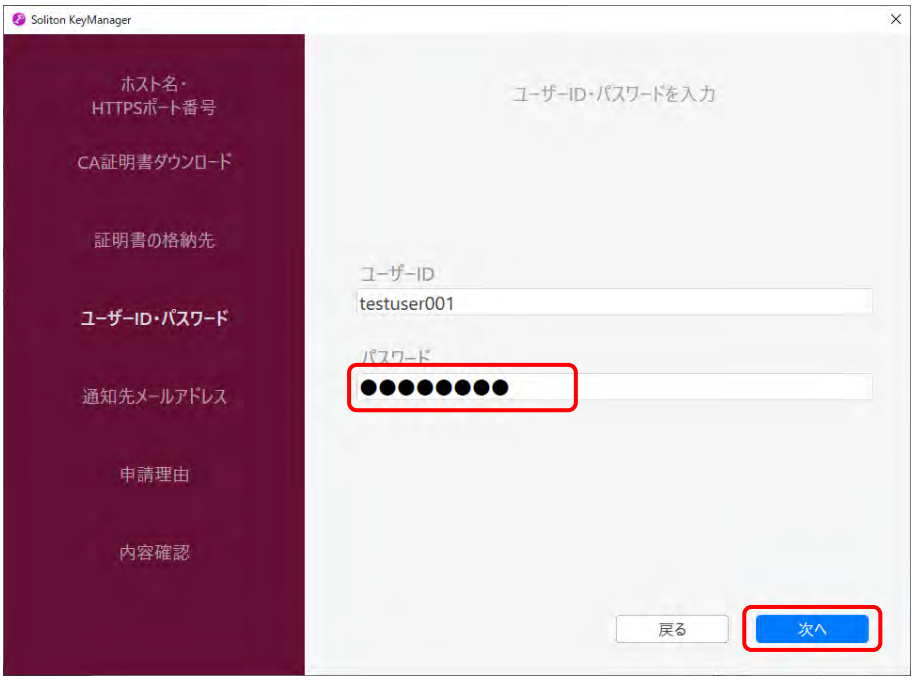
2.　「申請開始」を押す

3.　更新する証明書の「申請」を押す

【有効期限内の場合】

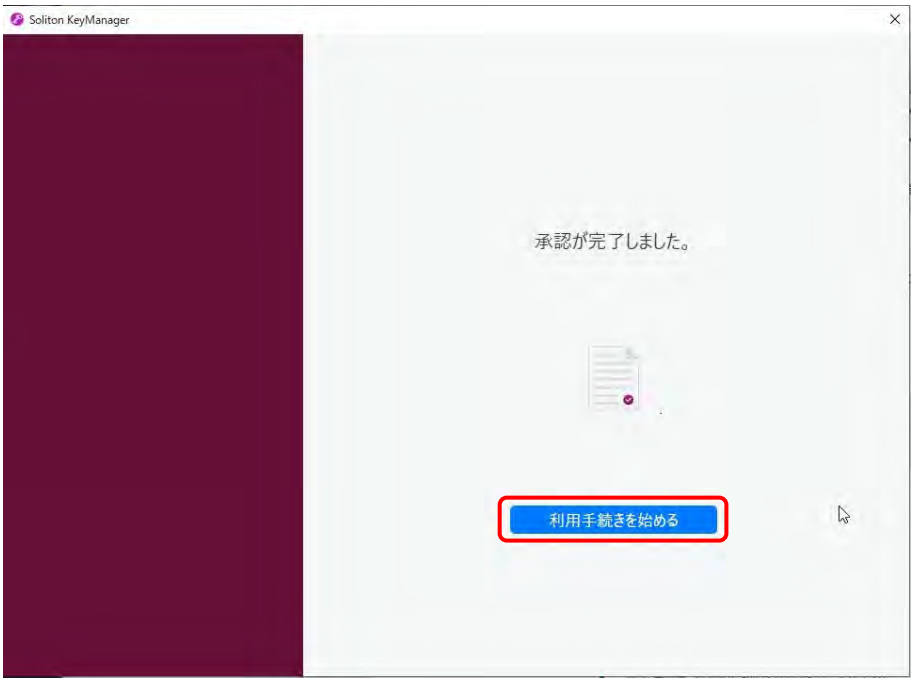
【有効期限切れの場合】

4. パスワードを入力し、「次へ」を押す



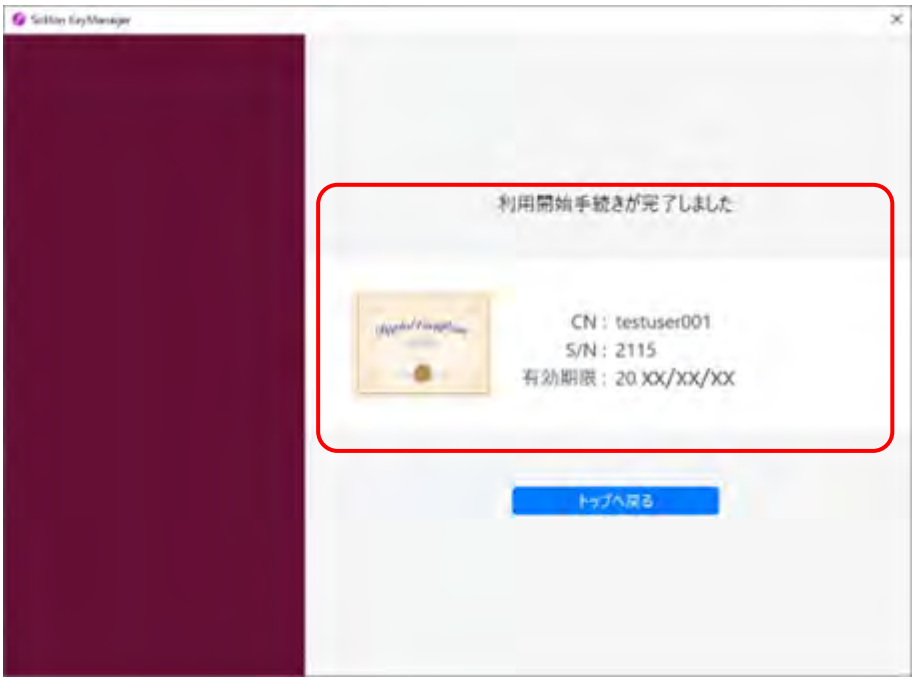
項目	内容
パスワード	パスワードはユーザーID と同じです。

5. 「利用手続きを始める」を押す



6. ユーザーアカウント制御ダイアログが表示され、アプリ「NetAttest RA Client Admin Module(x86)」による変更の許可を求められた場合「はい」を押す

7. 手続き完了画面が表示されることを確認する



以上で、クライアント証明書の更新の操作は完了です。

5.6　型式検索結果と検査場での検査要否確認結果が異なったとき

OBD 検査の要否は、型式の情報だけでなく、車両 1 台 1 台の細かい情報を踏まえて個別に決定するため、一般的に OBD 検査の対象か否かを示す本システムの型式検索結果と異なるケースがあります。OBD 検査または OBD 確認の実施は、特定 DTC 照会アプリの要否確認結果に従って行ってください。

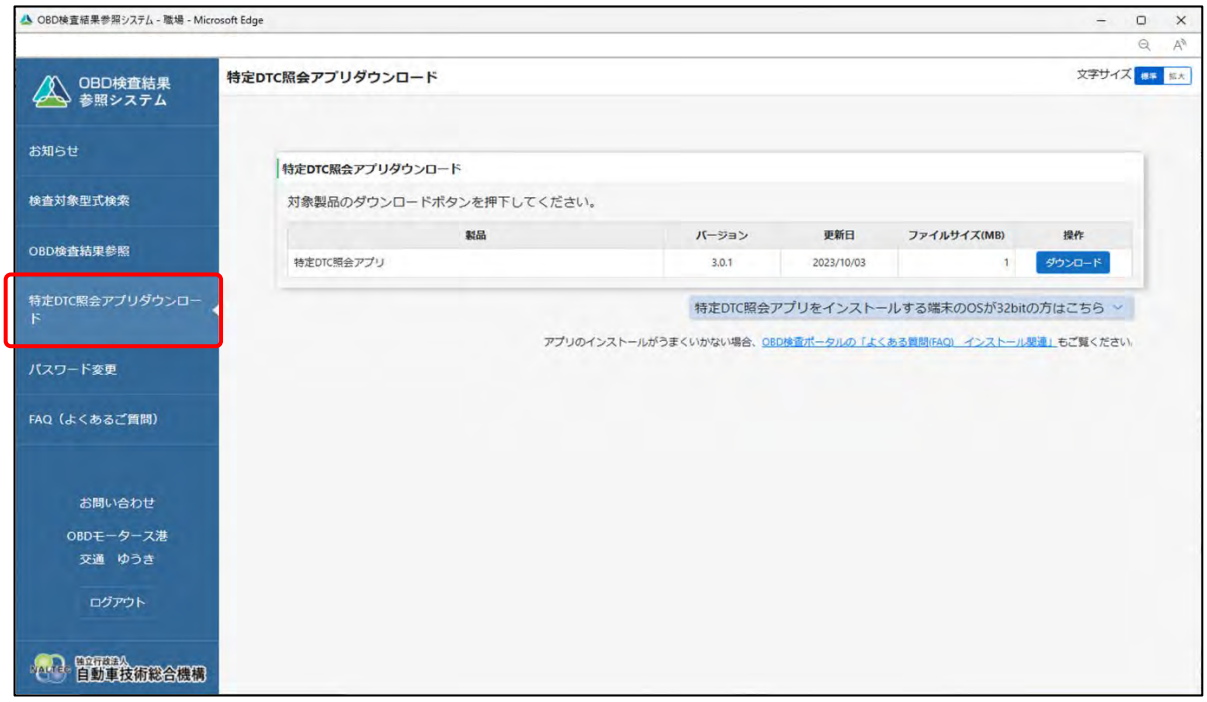
5.7　特定 DTC 照会アプリをダウンロードする

特定 DTC 照会アプリをダウンロードします。ダウンロードした特定 DTC 照会アプリは、各事業場で使用する検査用スキャンツールの端末（Windows がインストールされた PC またはタブレット）に展開します。

■OBD 検査結果参照システムで特定 DTC 照会アプリをダウンロードする

1. メニューの「特定 DTC 照会アプリダウンロード」を押す

《特定 DTC 照会アプリダウンロード》画面が表示されます。



メモ

- お使いの端末の WindowsOS が 32bit だった場合、「特定 DTC 照会アプリをインストールする端末が 32bit の方はこちら」を押し、以下からインストールしてください。

- 32bit 版の特定 DTC 照会アプリは自動でアップデートできないため、ご自身でアップデートする必要があります。アップデート方法については、『特定 DTC 照会アプリ 操作マニュアル』を参照してください。

2.　「ダウンロード」を押す

特定 DTC 照会アプリがダウンロードされます。

■ダウンロードした特定 DTC 照会アプリを検査用スキャンツールの端末に展開する

ダウンロードした特定 DTC 照会アプリを、検査用スキャンツールの端末（PC またはタブレット）にメールや USB メモリなどで展開します。

続いて、検査用スキャンツールの端末に特定 DTC 照会アプリのインストールを行う場合は、『利用者管理システム 操作マニュアル』の「3.5 検査用スキャンツールの端末に特定 DTC 照会アプリをインストールする」を参照してください。

ご注意

同一拠点で複数の端末を使用する場合は、クライアント証明書の追加発行の申請を行ってください。詳細については、『利用者管理システム 操作マニュアル』の「6.5 使用する機器を増やしたいとき」を参照してください。

5.8　検査結果を削除する

管理責任者は、所属する事業場の OBD 検査結果または OBD 確認結果を削除することができます。

ご注意

- 削除した検査結果は、本システム、特定 DTC 照会アプリで確認できなくなります。
- 復元機能はありません。真に必要がある以下のような場合のみ削除するようにしてください。
  - 誤った車両情報を入力して OBD 検査または OBD 確認を実施した場合
  - OBD 検査または OBD 確認実施後に、その事業場で点検整備を行わないこととなった場合

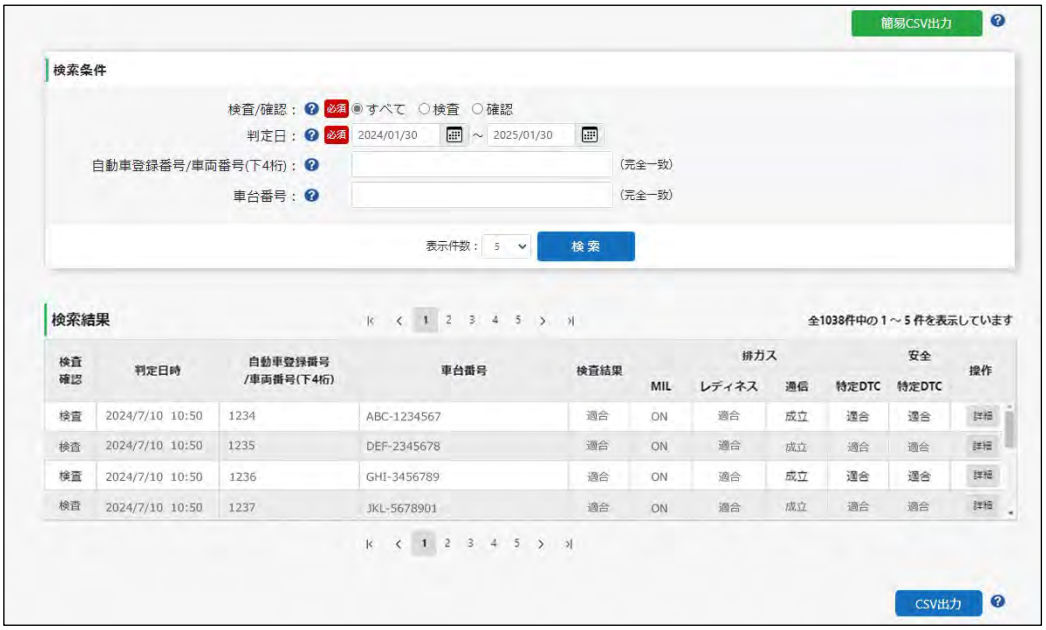
メモ

- OBD 検査をやり直す場合は、OBD 検査結果を削除する必要はありません。
  そのまま、再度 OBD 検査を実施してください。
- 管理責任者のみ検査結果が削除できます。
  （統括管理責任者、検査員および工員は削除できません。）

1.　削除したい検査結果の条件を選択し、「検索」を押す

各入力項目についての詳細を確認する場合は、「4.2 OBD 検査結果を検索する」を参照してください。

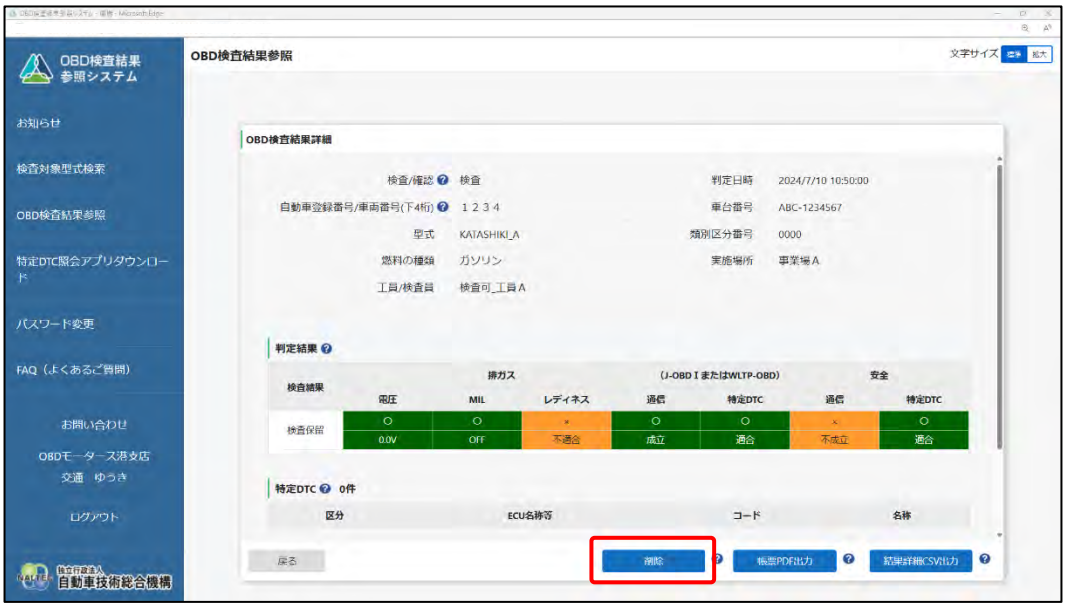
《OBD 検査結果参照》画面が表示されます。



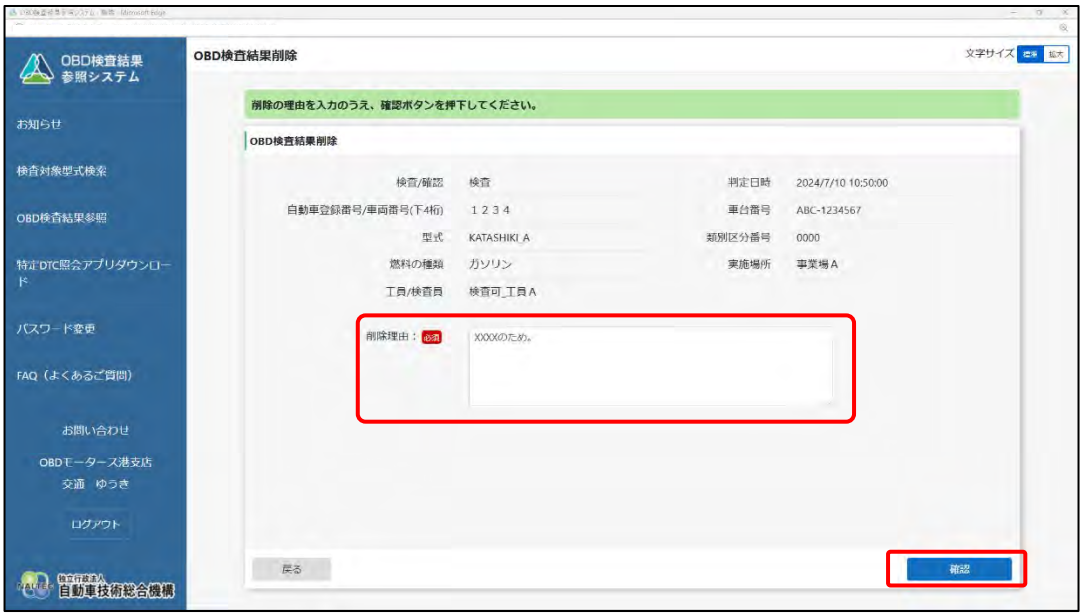
2. 《OBD 検査結果参照》画面で、削除したい検査の「詳細」を押す

OBD 検査結果の詳細や特定 DTC の情報などが表示されます。

3. 「削除」を押す



4. 検査結果を削除する理由を入力し、「確認」を押す



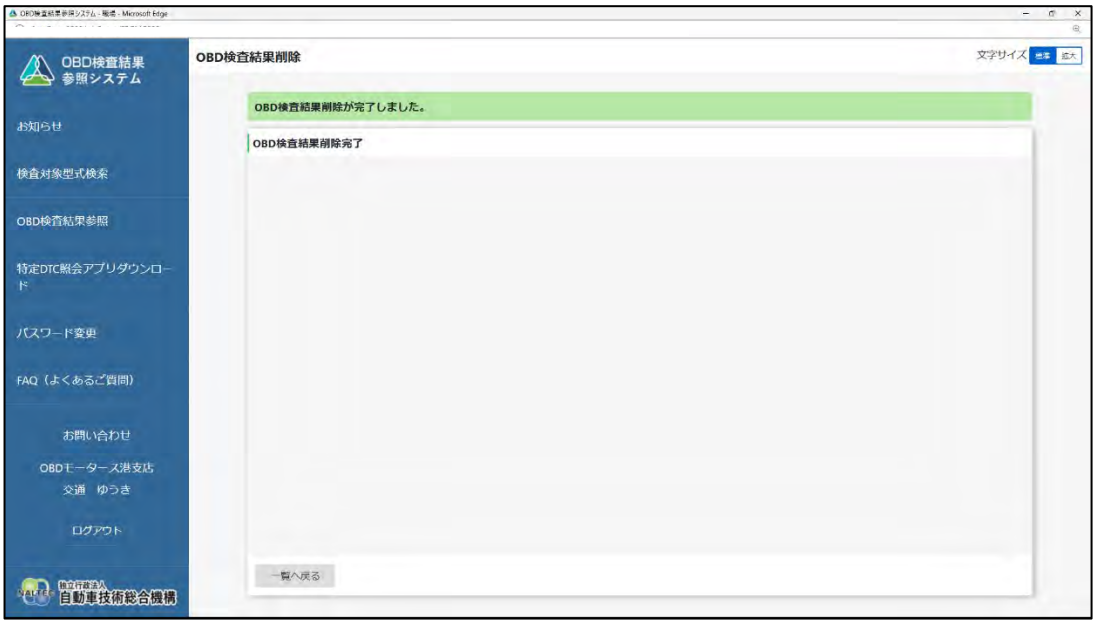
「車両受付誤りのため」などの検査結果削除理由を入力します。

5. 入力した内容を確認し、「実行」を押す

《OBD 検査結果削除完了》画面が表示されます。

メモ

誤っている場合は、左下の「戻る」を押し、手順 **4** に戻って申請内容を修正してください。



以上で、検査結果を削除する操作は完了です。

6 お問い合わせ

6.1　お問い合わせ先

本システムについてのお問い合わせ先は以下になります。

問い合わせ先名称：OBD 検査コールセンター

電話番号：0570-022-574

対応時間：9 時 00 分～ 17 時 00 分（12 月 29 日から 1 月 3 日を除き、 年中無休）

お問い合わせ先は、本システムのメニューからも確認できます。

7 付録

7.1　エラーメッセージと対処方法

システムの操作でエラーが発生したときは、エラーメッセージが表示されます。

エラーコード	メッセージ	対処方法
EE001	【エラー：EE001】初度登録年月または初度検査年月に不正な元号、年、月が選択されています。	メッセージに従って対処してください。
EE002	【エラー：EE002】集計範囲は、〇カ月以内で指定してください。 メモ 〇には数字が表示されます。	メッセージに従って対処してください。
EE003	【エラー：EE003】判定日の範囲は、〇年以内で指定してください。 メモ 〇には数字が表示されます。	メッセージに従って対処してください。
EE004	【エラー：EE004】OBD 検査結果情報の取得に失敗しました。	メッセージに従って対処してください。
EE005	【エラー：EE005】OBD 検査結果_DTC_XML 情報の取得に失敗しました。	メッセージに従って対処してください。
EE006	【エラー：EE006】接続端子の位置情報を取得できませんでした。	メッセージに従って対処してください。
EE007	【エラー：EE007】事業場別検査結果 CSV 出力に失敗しました。	メッセージに従って対処してください。
EE008	【エラー：EE008】検査員別検査結果 CSV 出力に失敗しました。	メッセージに従って対処してください。
EE009	【エラー：EE009】検査員別実績集計結果の取得に失敗しました。	メッセージに従って対処してください。
EE010	【エラー：EE010】OBD 検査結果参照 CSV 出力に失敗しました。	メッセージに従って対処してください。
EE011	【エラー：EE011】OBD 検査結果参照（詳細）CSV 出力に失敗しました。	メッセージに従って対処してください。

エラーコード	メッセージ	対処方法
EE012	【エラー：EE012】OBD 検査結果帳票出力に失敗しました。	メッセージに従って対処してください。
EE013	【エラー：EE013】OBD 検査結果参照（簡易 CSV）CSV 出力に失敗しました。	メッセージに従って対処してください。
EE014	【エラー：EE014】認定試験用ログ出力に失敗しました。	メッセージに従って対処してください。
EE015	【エラー：EE015】入力された型式が存在しませんでした。入力した内容に誤りがない場合は本機能で検索可能な型式ではありません。	メッセージに従って対処してください。
EE016	【エラー：EE016】パスワードの有効期限が切れています。所属する組織の管理者もしくは責任者にパスワードの再発行を依頼してください。	メッセージに従って対処してください。
EE017	【エラー：EE017】削除理由は{max}文字以内で入力してください。	メッセージに従って対処してください。
EE018	【エラー：EE018】OBD 検査結果削除に失敗しました。	メッセージに従って対処してください。

7.2　OBD 検査ポータル

OBD 検査ポータルの URL は以下になります。

URL：https://www.obd.naltec.go.jp

7.3　改訂履歴

日付	版数	改訂内容
2023.03.30	第 1 版	新規作成
2023.06.02	第 1.1 版	• 「2.1 ログインとログアウト」（P.11）に記載のご注意にて、特定 DTC 照会アプリにおいて初回ログインを実施していた場合、OBD 検査果参照システムでの初回ログインが不要である旨追加。 • 「3.2 OBD 検査対象の型式かどうかを検索する」（P.26）に記載の「OBD 検査開始年月日」の吹き出し説明文を修正。
2023.09.19	第 1.2 版	• 以下の記載について、説明文をわかりやすい表現に修正。 - P. 5、10、11、12、13、16、19、28、32、36、38、39、44、47、49

		• 以下の記載について、補足説明の追加。 - 「■OBD 検査とは」（P.8）に記載のメモにて、OBD 検査対象車であってもOBD 検査不要となる条件を追加。 - 「■本システムにログインする（初回）」（P.10）に記載のメモにて、証明書を選択する手順を追加。 - 「■本システムにログインする（2 回目以降）」（P.15）に記載のメモにて、証明書を選択する手順を追加。 - 「4.1 概要」（P.29）に記載のメモにて、OBD 検査結果の検索条件を追加。 - 「4.4 検査結果を帳票 PDF ファイルに出力する」（P.41）の手順 4 について、警告灯判定を行った場合の表示の説明を追加。
2024.03.25	第 1.3 版	• クライアント証明書の選択について、説明の記載を見直し。 - 「■本システムにログインする（初回）」（P.10） - 「■本システムにログインする（2 回目以降）」（P.15） • 事業場の名称を変更した場合、表示される名称も変わる旨、追記。（P.31、35） • コールセンターの対応時間が 2024 年 4 月から変更になる旨、記載。（P.51）
2024.09.17	第 1.4 版	• システム改修に伴い、以下の説明を修正。 - 「■本システムの機能」(P.8)に新規機能の概要説明を追加。 - 「5.7 特定 DTC 照会アプリをダウンロードする」(P.50)に新規機能の説明を追加。 • 以下の記載について、説明文をわかりやすい表現に修正。 - P.9、13、16、26、44、53
2024.12.09	第 1.5 版	• システム改修に伴い、以下の説明を修正。 - P.35、36、37、38、39
2025.04.13	第 1.6 版	• システム改修に伴い、以下を修正。 - 「■OBD 検査結果の詳細を確認する」（P.35、36、37、38、39）の画面を差し替え。 - 「5.8 検査結果を削除する」（P.53）の説明を追加。 • 以下の記載について、説明文をわかりやすい表現に修正。 - P.31、37